

令和5年9月5日

## 令和5年 第3回区づくり推進横浜市議員会議 次第

### 1 議 題

- (1) 令和4年度 都筑区個性ある区づくり推進費 決算状況について  
(資料1)
- (2) 令和5年度 都筑区自主企画事業の執行状況について (資料2)
- (3) 令和6年度 都筑区個性ある区づくり推進費 予算編成の考え方  
について (案) (資料3)

### 2 報告事項

都筑区制30周年に向けた取組について

令和 4 年度  
都筑区個性ある区づくり推進費  
決算状況について

令和 5 年 9 月 5 日  
都 筑 区

## 目 次

令和4年度 都筑区個性ある区づくり推進費 決算状況について	3
令和4年度 都筑区自主企画事業説明書	
自主企画事業費	
施策1 活力とにぎわい、魅力あふれるまち	
1 街のにぎわいづくり事業 <b>重点</b>	4
2 文化活動支援・スポーツ振興事業	6
3 メイドインつづき推進事業	8
4 都筑 国際交流プログラム	9
5 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	11
施策2 つながりと協働を育むまち	
6 デジタル化推進事業 <b>重点</b> <b>新規</b>	13
7 自治会・町内会支援事業 <b>重点</b> <b>拡充</b>	14
8 区役所改善推進事業	16
9 広報・広聴事業	17
10 まちづくり総合調整事業	18
11 地域支援の種（たね）事業 <b>拡充</b>	20
12 市民活動・生涯学習支援事業 <b>拡充</b>	21
13 地域de育む青少年事業	22
14 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業	24
施策3 いきいきと健やかに暮らせるまち	
15 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業 <b>重点</b> <b>拡充</b>	26
16 保育所を拠点とした地域子育て支援事業	29
17 つづき健康づくりサポート事業 <b>拡充</b>	30
18 地域で支える高齢者支援事業	32
19 障害者交流啓発事業	33
施策4 安全・安心なまち	
20 災害にそなえる自助・共助の推進事業 <b>重点</b> <b>拡充</b>	34
21 安全・安心なまちづくり事業	37
22 危機管理対策推進事業	38
23 食と暮らしの安全推進事業	40
施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち	
24 環境にやさしいまち推進事業	42
25 つづき水と緑の魅力アップ推進事業 <b>拡充</b>	44
26 ハマロード・サポーター、愛護会等活動推進事業 <b>重点</b> <b>拡充</b>	45

※ 重点事業は**重点**、拡充事業は**拡充**と表記しています。

令和4年度 都筑区個性ある区づくり推進費 決算状況について

<個性ある区づくり推進費総括表>

(単位：円)

区 分	予算額	予算現額	決算額	増△減
1 自主企画事業費	101,243,000	101,243,000	96,421,926	4,821,074
2 統合事務事業費	41,041,000	41,041,000	39,548,169	1,492,831
(1) 統合事務費	22,296,000	22,296,000	21,376,353	919,647
(2) 統合事業費	18,745,000	18,745,000	18,171,816	573,184
3 区庁舎・区民利用施設管理費	635,782,000	666,359,000	672,661,747	△ 6,302,747
合 計	778,066,000	808,643,000	808,631,842	11,158

<内訳>

1 自主企画事業費

施 策 の 柱	予算額	予算現額	決算額	増△減
(1) 活力とにぎわい、魅力あふれるまち	17,189,000	17,189,000	15,749,385	1,439,615
(2) つながりと協働を育むまち	33,534,000	33,534,000	35,792,214	△ 2,258,214
(3) いきいきと健やかに暮らせるまち	19,672,000	19,672,000	16,352,228	3,319,772
(4) 安全・安心なまち	25,032,000	25,032,000	23,165,290	1,866,710
(5) 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち	5,816,000	5,816,000	5,362,809	453,191
合 計	101,243,000	101,243,000	96,421,926	4,821,074

2 (2) 統合事業費

区 分	予算額	予算現額	決算額	増△減
広報よこはま発行事業	10,167,000	10,167,000	9,862,711	304,289
市民相談事業	1,504,000	1,504,000	1,502,149	1,851
クリーンタウン横浜事業	1,460,000	1,460,000	1,356,930	103,070
消費生活推進員活動事業	493,000	493,000	453,784	39,216
緊急時情報システム運用事業	430,000	430,000	411,767	18,233
スポーツ推進委員支援費	1,309,000	1,309,000	1,254,000	55,000
青少年指導員事業	1,862,000	1,862,000	1,810,475	51,525
学校・家庭・地域連携推進事業	1,520,000	1,520,000	1,520,000	0
合 計	18,745,000	18,745,000	18,171,816	573,184

3 区庁舎・区民利用施設管理費

区 分	予算額	予算現額	決算額	増△減
区庁舎等管理費（光熱水費含む）	223,320,000	253,897,000	261,105,922	△ 7,208,922
区版市民活動支援センター	931,000	931,000	812,551	118,449
土木事務所管理費（光熱水費含む）	6,543,000	6,543,000	6,781,026	△ 238,026
地区センター等管理費	150,967,000	150,967,000	157,134,306	△ 6,167,306
ログハウス管理費	8,680,000	8,680,000	8,680,000	0
公会堂管理費（光熱水費含む）	32,991,000	32,991,000	34,677,225	△ 1,686,225
老人福祉センター等管理費	106,463,000	106,463,000	99,308,135	7,154,865
コミュニティハウス管理費	52,346,000	52,346,000	52,346,000	0
区スポーツセンター管理費	40,213,000	40,213,000	40,212,000	1,000
都筑多文化・青少年交流プラザ管理費	7,786,000	7,786,000	7,780,260	5,740
その他（広場・遊び場）	482,000	482,000	979,966	△ 497,966
区庁舎・区民利用施設修繕費	5,060,000	5,060,000	2,844,356	2,215,644
合 計	635,782,000	666,359,000	672,661,747	△ 6,302,747



# 令和4年度 都筑区自主企画事業説明書

## 自主企画事業費

### 施策1 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

	R4 予算額	R4 決算額	差引
1 街のにぎわいづくり事業 <b>重点</b>	622万9千円	608万5千円	14万4千円

#### 1 都筑区民まつり

区民の皆様へ地域に対する愛着やふるさと意識を醸成していただけるよう、都筑区ふるさとづくり委員会とともに「第28回都筑区民まつり」を実施しました。

- ・都筑区総合庁舎及びセンター南駅周辺での会場開催（11月3日）



《第28回都筑区民まつり（4年度）》

#### 2 商店街魅力発信事業

都筑区商店街連合会の皆様とともに区内の商店街の効果的な魅力発信方法について検討しながら、広報よこはまと連動した『つづきたい』ちゃんのPRを実施しました。

加えて、「商店街からのラブレター事業」を継続して実施するとともに、10月にはインフルエンサー※を活用したSNSでの広報などを実施しました。また、プロスポーツチームと連携した取組も行いました。

※インターネット上において発言力があり、他人の行動等に影響を与える人物のこと

##### ■インフルエンサー 投稿内容

10月といえば、#ハロウィン 🍁  
 ハロウィンの楽しいイベントがあると聞いて息子さんと参加させていただいてきました！  
 その名も #恐怖のハロウィンバスツアー 🍁  
 私たちは、#中川駅 からバスケットをゲットして参加 🏀  
 駅前では、テープカットのセレモニーをしていました 🍁  
 #ハロウィンコスプレの、 #つづきたいちゃん にも会えました❤️  
 魔女コスかわいい 🍁  
 たいちゃんに見送られてバスへ 🏀  
 中がすっかりハロウィン仕様で  
 すごくかわいかったー！



都筑区商店街連合会公式  
 キャラクター  
 「つづきたい」ちゃん

### 3 都筑・ドイツ交流イベント事業

センター北駅前の広場を会場に、「ドイツクリスマスマーケット in 都筑 2022」を都筑・ドイツ交流イベント実行委員会とともに開催しました。会場で開催するとともに、オンラインでドイツの文化を紹介し、相乗効果を図りました。

- ・会場開催（12月3日、4日 センター北駅前芝生広場）

ドイツやクリスマスに関連するステージや出店、体験ブースを実施しました。



《ドイツクリスマスマーケット in 都筑 2022》

主な増減

商店街魅力発信事業について、インフルエンサー派遣人数の変動による委託料の減

2 文化活動支援・スポーツ振興事業	R4 予算額	R4 決算額	差引
	262 万 9 千円	167 万 4 千円	95 万 5 千円

### 1 都筑区民文化祭事業

「GO TO TSUZUKI ～交流と憩いの祭典～」をキャッチフレーズとし、区民による区民のための手作りの文化祭の開催を支援し、世代を超えて都筑の文化を創りました。また、「横浜音祭り 2022」連携イベントとして和太鼓と篠笛のワークショップを実施しました。

- (1) 和楽器ワークショップ：10月22日、ハウスクエア横浜、62人
- (2) 第27回都筑区民文化祭：1月21日～2月5日
  - ・オープニングセレモニー：1月21日、都筑公会堂
  - ・展示部門：1月21日～2月5日、都筑区民ホール、出展者数268人
  - ・舞台部門：1月22日、28日、29日、2月4日、5日、都筑公会堂、出演者数826人



《和楽器ワークショップ》



《第27回都筑区民文化祭（展示部会）》

### 2 体育協会活動補助事業

都筑区体育協会に対し補助を行い、区民大会などのスポーツ活動や区民の皆様の健康増進等を支援しました。

### 3 都筑ふれあい健康マラソン大会事業

緑道を約1,500名のランナーが走る当マラソン大会について、コロナ下で数年間にわたり休止したのを機に、従来から課題であった緑道をコースとすることによる安全上のリスクを踏まえ、令和4年度は従来型の開催を中止し、事業の見直しを行いました。

実行委員会や地域関係者と相談の上、公道や農道等をコースとする新たなマラソン大会を開催する方向で警察との協議等を行いました。最終的に持続的な執行体制の確保や警察協議の目途が立たず、マラソン大会の継続実施自体を見合わせる事となりました。

令和5年度以降、実行委員会を設立し、新たなスポーツイベントを検討・実施していく方向を確認しました。

### 4 都筑スポーツ・文化賞事業

スポーツ・文化の分野においてめざましい活躍、顕著な功績のあった都筑区にゆかりのある方々を表彰し、さらなる活躍を期待するとともに、スポーツ・文化活動への関心を高めました。



・被表彰者：3 団体、12 個人



## 5 地域の読書活動推進事業

第2期「都筑区読書活動推進目標」（元年度から5年度まで）に基づき、「みゃーごとちゅーずのおでかけ図書館」や「つづきブックフェスタ」等の事業および読書活動推進に関する懇談会を実施し、区内の読書活動を推進しました。

- (1) おでかけ図書館：図書館と連携して区内施設に出向いて行う読書活動（4～3月、11箇所、参加者数746人）
- (2) つづきブックフェスタ：市民団体、図書館と協働で実施する読書イベント（11月、区民ホール等）
- (3) 読書懇談会：6月、参加者15人、区役所会議室（自治会町内会・学校関係者等）



《おでかけ図書館》



《つづきブックフェスタ》

## 6 パラスポーツ関連イベントの開催支援

パラスポーツの普及啓発につながる体験イベント開催を支援しました。

- ・区民まつりにて、ボッチャとモルックの体験会を開催（障害の有無にかかわらず、だれもが気軽に参加できるユニバーサルスポーツ体験：スポーツ推進委員）

<p>主な増減</p>	<p>都筑ふれあい健康マラソン大会の中止見直しに伴う補助金の残</p>
-------------	-------------------------------------

3 メイドインつづき推進事業	R4 予算額	R4 決算額	差引
	579 万 6 千円	452 万 6 千円	127 万円

## 1 中小製造業支援

### (1) 技術展示会出展支援

メイドインつづき参加企業に対し、神奈川県内最大級の工業技術・製品の総合見本市である「テクニカルショウヨコハマ」への出展支援を行いました。

また、企業紹介冊子の作成等を行い、参加企業の販路拡大を推進しました。

- ・テクニカルショウヨコハマ 2023

会場展示：2月1日～3日、パシフィコ横浜

Web サイト内展示：1月10日～2月28日

### (2) 事業PRイベント

メイドインつづき参加企業と連携し、子どもたちがものづくりを体験できるイベントを実施するとともに、各企業の活動紹介や地域の中小製造業の魅力発信を行いました。

- ・こうじょうのキラキラ 2022：8月1日～8月3日、区民ホール 参加者数：171人
- ・企業紹介パネル展：7月29日～8月4日、区民ホール
- ・区民まつり：11月3日 参加者数：156人



《こうじょうのキラキラ 2022》



《区民まつり》

## 2 地産地消の推進

都筑野菜朝市の定期開催（概ね月4回）、都筑野菜グルメスタンプラリー（10月～1月）、都筑野菜マルシェセットの貸し出し、都筑野菜の認知度向上のための取組を通じて、地産地消を推進しました。

また、区内小学校への地産地消に係る出張授業や都筑野菜を楽しむためのクッキング動画を作成・公開しました。（6月、9月、12月、3月）



《朝市の様子》



《都筑野菜クッキング》

主な増減

企業紹介冊子デザイン委託費の残

4 都筑 国際交流プログラム	R4 予算額	R4 決算額	差引
	193 万 5 千円	191 万 5 千円	2 万円

### 1 都筑多文化・青少年交流プラザ事業

外国人への情報提供や多文化交流、青少年の地域活動及び区民活動の場を提供するため、「都筑多文化・青少年交流プラザ（つづきMYプラザ）」に以下の事業の運営を委託しました。

#### (1) 在住外国人支援・国際交流事業

外国人のための生活情報の提供を実施しました。外国人に分かりやすく情報を伝えることができるよう、日本人向けに「やさしい日本語」講座を開催しました。（日本語ボランティア向け（9月4日・オンライン）、公共施設職員向け（9月5日・つづきMYプラザ及び区役所）、自治会町内会向け（9月11日・つづきMYプラザ及びオンライン））

また、都筑・ボツワナ交流児童画展等、国際理解の促進のためのイベントや、ボツワナ共和国をはじめとするアフリカとの交流事業を実施しました。

- ・国際理解教室（ボツワナ大使出席）：6月24日、茅ヶ崎小学校、3年生160人

- ・児童画展の開催

11月7日～11月11日、ベン・テマ小学校（ボツワナ共和国）

12月15日～12月22日、都筑区役所区民ホール

2月15日～2月22日、つづきMYプラザ

（ボツワナ大使出席、茅ヶ崎小3年生とオンライン交流）

3月2日～3月28日、JICA横浜2階ギャラリー

- ・アンゴラ大使の都筑工場視察：10月19日



《都筑区民ホールでの児童画展開催の様子》



《ベン・テマ小学校での児童画展開催の様子》

#### (2) 市民活動及び外国につながる人の支援

日本語ボランティアを養成するとともに、外国につながる人への学習機会を提供しました。また、多国籍の人が担い手となるイベントを開催し、区民の多文化理解を深めました。

- ・「KANJI クラブ」：外国につながる子どものための学習補助事業（週1回程度、オンライン併用、参加者32人（小学校15人、中学校17人）、ボランティア23人）

- ・区民が多文化共生について学ぶセミナーの実施（8月19日、オンライン）

- ・日本語ボランティアの連絡会の実施（計9回 参加者89人）

- ・プラザまつりの開催（3月12日）

## 2 外国人支援事業

防災ノート（多言語版及び令和3年度に区独自で発行したドイツ語版）を活用し、イベント時に配付やHPに掲載することで、区内在住外国人に向けた防災対策を支援しました。



5 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	R4 予算額	R4 決算額	差引
	60 万円	154 万 9 千円	△94 万 9 千円

### 1 地元ファン層の拡大に向けた取組の実施

地域の皆様や横浜ビー・コルセアーズとの連携により、街全体を巻き込んだPRの充実を図りました。また、応援パネル展の開催やカウントダウンボードの設置を行うとともに、主に区庁舎を中心とした装飾やパブリックビューイングの実施を通じて地元ファン層の拡大を目指しました。

- (1) 庁舎内でのフラッグ、横断幕の掲出：通年
- (2) 保育所へのバスケットゴール贈呈：6月30日、みどり保育園
- (3) 応援パネル展：9月22日～10月5日、区民ホール  
選手の等身大パネルや開幕戦に向けたカウントダウンボードの設置
- (4) スポーツ推進委員研修会としての試合観戦企画（1月28日、約70人）  
※地元プロスポーツチームへの理解、活用に向けた繋がりづくり
- (5) 天皇杯パブリックビューイングの実施：（2月15日、公会堂、600人）
- (6) 区庁舎の階段及びエレベーター装飾：3月



《区庁舎の階段及びエレベーター装飾》

### 2 都筑区応援 day の実施

区民の皆様により関心を持っていただくため、ホームアリーナである横浜国際プールでの試合日の中で観戦の機会を提供する「都筑区応援 day」を実施しました。

#### ・第1回都筑区応援 day

11月27日、新潟アルビレックスBB戦、約4,000人の観客動員

親子ペア割による小学生以下の無料招待を実施し、区内全小学校へチラシを配布  
会場外では消防車、パトカー、ごみ収集車などの『はたらくるま展』を実施  
（主に子どもや親子をメインターゲットとして開催）

### 3 商店街との連携支援

横浜ビー・コルセアーズと商店街との連携企画、イベントの広報協力を行うことで、チームと商店街の連携を引き続き支援し、地域に根差すチーム作りと地域活性化を図りました。



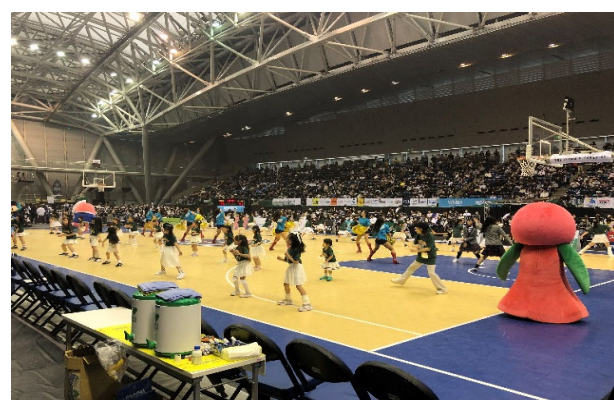
・第2回都筑区応援day（商店街連携企画）

3月26日、信州ブレイブウォリアーズ戦、立ち見含め史上最多となる5,000人の観客動員

小学生以下無料招待のほか、中高生・大人も割引価格を設定し、区内商店街の各店舗でチラシを配布

会場外では商店街店舗によるワークショップを開催し、来場者に商店街とビーコルがコラボしたデザインのウェットティッシュを配布しました。

ハーフタイムには都筑区商連公式キャラクター『つづき たい』ちゃんと商店街アイドル、地元ダンススクールの小学生が登場し、たいちゃん体操を披露しました。



《都筑区応援dayの様子》

主な増減	地元のプロスポーツ支援に係る広報強化の一環で、区庁舎の階段及びエレベーター装飾を実施したことによる委託費の増
------	--------------------------------------------------------

## 施策2 つながりと協働を育むまち

6 デジタル化推進事業 <b>重点</b> <b>新規</b>	R4 予算額	R4 決算額	差引
		200 万円	139 万 1 千円

### 1 デジタル化推進事業

待合スペース環境の向上のため、1階一部エリア及び2階フロアについて、インターネット接続用無線 LAN 環境（公衆無線 Wi-Fi）を整備しました。

業務効率化を図るため、WEB 会議用の端末、WEB 会議ソフト等を拡充しました。

- ・インターネット接続用無線 LAN 環境の整備（8月）
- ・WEB 会議用の端末、WEB 会議ソフト等を拡充（9月）



《WEB 会議の様子》



《2階待合エリアの無線 LAN ご案内》

主な増減	モニター整備及びWEB 会議用機材購入に際して、局予算を活用したことによる備品費の減
------	--------------------------------------------

7 自治会・町内会支援事業 <b>重点</b> <b>拡充</b>	R4 予算額	R4 決算額	差引
	526 万円	365 万 8 千円	160 万 2 千円

### 1 自治会町内会加入促進

地域のつながりづくりのため、自治会町内会への加入促進を連合町内会自治会等と連携しながら行いました。

#### 【取組 1】

- ・ナッジを活用した転入者を対象としたアンケートの実施による意識調査・分析の実施  
(アンケートの実施：6月～10月、分析・報告書の作成：11月～2月)  
配布数：699票、総回収数：464票、有効回収率：66.4%
- ・アンケート回収時における窓口での区役所職員による加入勧奨の実施（6月～10月 320人）



《回収ボックスでの啓発》



《アンケート案内時の POP》

#### 【取組 2】

- ・区役所による入会相談・入会取次の実施
- ・未加入世帯、未設立・新築マンションへの働きかけ
- ・転入手続時の自治会町内会活動紹介冊子の配布
- ・区内各駅や施設等での自治会町内会活動紹介冊子の配架
- ・宅建協会横浜北支部と連携した自治会町内会活動紹介冊子の配布
- ・加入促進のためのトートバッグの作成（12月）
- ・連合町内会等と連携した加入の呼びかけ

### 2 自治会町内会長感謝会

自治会町内会長感謝会を開催し、永年にわたり尽力された会長に対し、感謝状を贈呈するとともに各自治会町内会長に対し、感謝の意を表しました。（3月1日）



《令和4年度都筑区自治会町内会長感謝会》

### 3 自治会町内会への情報提供

都筑区連合町内会自治会（以降、区連会）定例会資料を、8月と12月を除く毎月、各自治会町内会あてに配送し、区連会ホームページに掲載しました。

主な増減

- ・自治会町内会加入促進について、自治会町内会活動紹介冊子の印刷部数減による減
- ・自治会町内会への情報提供について、区連会開催月の見直しによる配送委託費等の減（12月休会）



8 区役所改善推進事業	R4 予算額	R4 決算額	差引
	1,204万3千円	1,860万円	△655万7千円

### 1 区役所改善推進事業

(1) 人権意識の向上を目的として、区民の皆様及び職員を対象とした人権啓発講演会について、会場での講演（1月）およびオンライン動画配信（2月）を実施しました。  
参加者 508 人（会場 270 人、オンライン 238 人）



《講演会の様子》

渡部 陽一氏（戦場カメラマン/フォトジャーナリスト）

「戦場からのメッセージをあなたに ～ファインダー越しに見た命の現場～」

(2) 窓口サービス等の改善のため、問い合わせ対応用に各課の業務をキーワードから検索できるリストの更新等を実施しました。（7月～3月）

### 2 区庁舎環境改善事業

区民の皆様が快適に利用できるよう、区庁舎内トイレの環境改善や、福祉保健センター健診室及び6階大会議室の備品の更新等を行いました。

### 3 税理士による確定申告受付事業

確定申告の期間中（2月16日～3月15日）のうち10日間、区民の皆様身近な区役所において、専門知識を持つ税理士の協力を得て確定申告（医療費控除の還付申告）に係る申告書の作成支援・受付を行いました。

（令和4年度収受件数：267件）



### 4 来庁者サービスアップ事業

窓口の丁寧なご案内と業務の効率化のため、こども家庭支援課に窓口案内員を配置しました。（配置時間：8時45分～17時）

また、お子さま連れのお客様が安心して区役所を利用できるよう、待ち時間にお子さまと過ごせる場所を提供しました。

主な増減	庁舎内トイレの環境改善や備品更新等による増
------	-----------------------

9 広報・広聴事業	R4 予算額	R4 決算額	差引
	235 万 9 千円	207 万円	28 万 9 千円
<p><b>1 インターネット広報</b>  区ホームページや SNS（ツイッター、LINE）を活用し、区政情報や各種イベント情報の発信、オープンデータの提供などを行いました。また、新型コロナウイルス感染症に関する情報をタイムリーに発信しました。</p> <p><b>2 PRボックス</b>  毎月 1 日、全駅の PR ボックス見開き掲示板に広報紙の最新号を掲示しました。  また、毎月 10 日に広報印刷物の補充を行い、イベント・お知らせ等を周知しました。  このほか、区内の郵便局や、「地域活性化包括連携協定」に基づきセブン-イレブンの店舗でも広報紙を配架しました。</p> <p><b>3 都筑区ハンドブック発行事業</b>  区役所の業務案内や区内の施設情報などを掲載した「都筑区ハンドブック」を発行し、区内に転入された方などへ配付しました。（3 月、10,000 部）</p> <p><b>4 主要事業の広報</b>  広報よこはま都筑区版（5 月号）や区民ホールでのパネル展示（5 月 26 日～6 月 1 日）、希望する地区連合自治会町内会への説明又は資料提供（4～6 月、10 連合）により、区の主要事業の広報を行いました。</p> <p><b>5 広報研修</b>  より効果的な広報を実施するため、主に広報よこはま都筑区版に携わる区職員を対象とした研修動画の配信を実施しました。</p> <p><b>6 地域との意見交換会</b>  区民の方や区内で活動する団体等の方との意見交換については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し実施を見送りましたが、各種広聴制度の活用により地域における課題やニーズの把握に努めました。</p>			
主な増減	PR ボックスメンテナンス委託費について、見積合わせによる委託料の減		

10 まちづくり総合調整事業	R4 予算額	R4 決算額	差引
	284 万 5 千円	277 万 1 千円	7 万 4 千円

### 1 企画調整・情報収集提供

#### (1) 東京都市大学との連携

地域課題に関する意見交換会

(地域連携協力会議：6月6日)、学生による地域  
についての研究発表会

(地域連携調査研究発表会：2月28日)等を行いました。



《地域連携調査研究発表会の様子》

#### (2) その他企業との連携

区内企業による学校出前講座（つづき博士倶楽部）を行いました。（3校）

《つづき博士倶楽部》

都筑区に立地する企業・事業所がその専門分野を生かした講座を都筑区内の小中学校へ  
出向いて講義するもの。

### 2 都筑区民文化センター（仮称）機運醸成事業

令和6年度に予定されている、都筑区民文化センター（仮称）の開館に向けた機運を高  
めるため、区民ホールにて整備状況をお知らせするパネルの展示（7月）、整備の進捗等を  
紹介する「区民文化センターニュース」の発行（10月）、整備事業者と連携した区民向けコ  
ンサート「シュトゥットガルト室内管弦楽団によるコンサート in 都筑区」を実施しまし  
た。（11月）

また、区民文化センターに設置する<sup>どんちよう</sup>緞帳のデザインについて、地域代表、有識者の方々  
から助言をいただく場として、緞帳デザイン検討会を開催し、緞帳のデザインを決定しま  
した。（3月）

〈完成イメージ〉



《センター北駅側から区民文化センターを見た様子》



《ホールの様子》

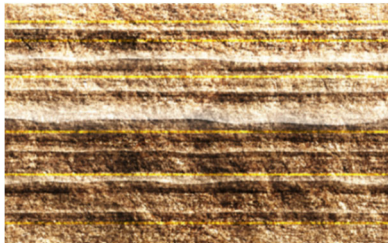
※イメージパースは、現時点のものであり実際の建物と異なる場合があります。



《区民文化センターパネル展》



《シュトゥットガルト室内管弦楽団によるコンサート in 都筑区》



《緞帳デザイン》

【デザインに込めた思い】

都筑区は、大塚・歳勝土遺跡や境田貝塚、茅ヶ崎貝塚といった日本初期の集落の出現にあらわされるように、数千年の歴史と文化が積み重なった土地です。これを「土の積層」と捉え、これからも都筑区に残り続ける歴史の積層を表現しながら、上部にいくほど明るくなり、土を積み重ね未来へと繋がる高揚感をメッセージとして表現しています。

また、デザインを構成する要素を絞ることで、演目やホール内装との親和性を考え、シンプルでありながら重厚なデザインとしています。



11 地域支援の種（たね）事業 <b>拡充</b>	R4 予算額	R4 決算額	差引
	147万6千円	130万円	17万6千円

### 1 コミュニティ応援アドバイザー派遣事業

自治会町内会等を対象に、個々の地域課題に対応したアドバイスを行う専門家「コミュニティ応援アドバイザー」を各地区に派遣する回数を増やし、地域の実情に応じた個別具体的な支援で課題解決を促しました。

また、令和4年度の新たな取組として、(公財)横浜市シルバー人材センターとの連携により、シニア層の経験と能力を活かした地域支援の事例づくりを目指し、シニアの専門人材を活用したアドバイスも実施しました。

- ・対象：地区連合町内会自治会・単位自治会町内会 計138団体
- ・派遣実績：4地区延べ11回（当初予定3地区延べ9回）
- ・派遣内容：SNSやHP等のICT活用、自治会加入率向上等

### 2 NPO法人情報誌「tsuzuki ANCHOR」の発行

区内のNPO法人が大切にしていること、特徴や日頃の活動の様子、地域とのつながりなどを紹介した情報誌を発行し、自治会町内会や地区社会福祉協議会、各種委嘱委員等、協働の地域づくりに携わる団体との連携を促しました。

令和4年度より、情報誌の発行に伴うSNSの発信も実施しました。

（6月、10月、2月発行、各号8,000部）



《tsuzuki ANCHOR》

主な増減	職員人材育成（研修）の実施手法をオンライン（動画配信）に変更したことによる残
------	----------------------------------------

12 市民活動・生涯学習支援事業 <b>拡充</b>	R4 予算額	R4 決算額	差引
		300万7千円	282万1千円
<p><b>1 講座</b> 市民活動のきっかけづくりや市民団体のスキルアップを目的に講座を開催しました。</p> <p>(1) 市民活動の担い手づくり講座(大人の部活動)(連続講座:7月~9月、3月、全6回、区役所会議室、参加者27人)</p> <p>(2) 女性の活躍支援講座(輝く女性応援プロジェクト)(11月、参加者19人、区役所会議室)</p> <p>(3) 市民団体のスキルアップ講座(縁ジンミーティング)(8月9日、参加者13人、12月、参加者15人、区役所会議室)</p> <p>(4) 市民ライター養成講座(連続講座:6月~11月、全8回、区役所会議室、参加者10人)</p>			
			
<p>《大人の部活動》</p>		<p>《市民団体のスキルアップ講座(縁ジンミーティング)》</p>	
<p><b>2 交流会</b> 区民の皆様や市民団体、区民利用施設同士の連携・交流の促進を目的に、交流会を開催しました。</p> <p>(1) 区民同士の交流会(つながりカフェ)(5月17日、8人、9月15日、7人、11月、9人、区役所会議室)</p> <p>(2) 市民活動の活動発表、交流会(つづき人交流フェスタ)(3月、パネル展<sup>びと</sup>出展44団体、ワークショップ出展16団体、交流会約50人参加、区民ホール)</p> <p>(3) 区民利用施設情報交換会(7月12日、26施設、区役所会議室)</p>			
<p><b>3 広報紙</b> 市民活動・生涯学習の普及を目的として広報紙「縁ジン」を発行するとともに、ホームページやSNSを活用して情報を発信しました。 (10月・1月発行、各7,000部)</p>			
<p><b>4 補助金</b> 市民団体が行う公益性の高い事業に補助金を交付し、事業終了後は報告会を開催しました。 (6月審査会で6団体への交付を決定、年度末に報告会を実施)</p>			
<p><b>5 区民活動センター利用促進事業</b> 区民活動センター予約システムや、オンライン相談窓口の活用により、区民活動センターの利用促進を図りました。</p>			
主な増減	広報のデジタル化に伴う印刷製本費の減		

13 地域 de 育む青少年事業	R4 予算額	R4 決算額	差引
	98万3千円	91万4千円	6万9千円

### 1 青少年支援者育成講座

青少年指導員をはじめとする青少年支援に関わる活動団体等を対象に、課題の共有やスキルアップ、情報交換等を目的とした講座や研修を開催しました。

- ・ 1回目：7月17日（会場とウェブ会議システムの併用）  
参加者57人（会場26人、Zoom31人）  
テーマ：「消費トラブルについて」 講師：飯田学史氏（弁護士）
- ・ 2回目：2月23日（会場とウェブ会議システムの併用）  
参加者58人（会場18人、Zoom40人）  
テーマ「コロナ前後での青少年を取り巻く環境の変化から支援のあり方を考える」  
講師：米田佐知子氏（子どもの未来サポートオフィス代表）



《青少年支援者育成講座》

### 2 はあと de ボランティア

夏休み期間を利用して、中・高校生及び小学校高学年が、日頃関わる機会が少ない年代や地域の方々と交流し、体験を通じて学ぶことで、新しい自分との出会いや新たな発見ができるきっかけとするために、ボランティア体験事業を実施しました。

- ・ オリエンテーション：7月19日、22日～25日、全7回、  
区内地区センター、都田小学校コミュニティハウス、  
つづきMYプラザ、日々輝学園高等学校
- ・ ボランティア体験：7月27日～8月19日 体験者総数324人（うち小学生79人）、  
体験先55コース（うち小学校5・6年生プレコース26コース）
- ・ 振り返り・修了証授与：8月20日～21日、9月1日、全3回、  
都筑区役所、日々輝学園高等学校



《はあと de ボランティア（左：清掃活動、右：振り返り・修了証授与）》

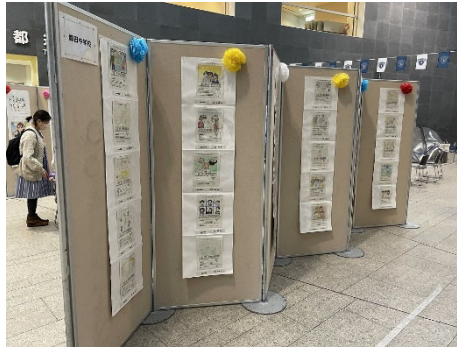
### 3 つづきウォーク&フェスタ

緑道や公園等の区の魅力の発見や、青少年の文化活動の発表の場の提供、青少年を含む参加者の世代を超えた交流、健康増進を目的とした「つづきウォーク&フェスタ」の開催を支援し、地域のつながりを活用した青少年育成と健康づくりに取り組みました。

・つづきウォーク&フェスタ：11月23日、すきっぷ広場及び区内各所

※雨天により緑道ウォーク企画は中止。

※11月21日～26日は、区民ホールで中学生のイラスト作品展示や吹奏楽部演奏会発表映像を放映しました。



《つづきウォーク&フェスタ（イラスト作品展示）》

14 都筑区地域福祉保健計画 「つづき あい」推進事業	R4 予算額	R4 決算額	差引
	356万1千円	226万7千円	129万4千円

### 1 地域懇談会の開催

第4期計画推進にあたり、地域での課題共有・解決を促進するため、連合町内会自治会・地区社会福祉協議会エリアで地域懇談会を開催しました。

- ・地域懇談会開催地区：12地区



### 2 地域福祉保健計画推進体制強化事業

- (1) 計画の推進を担う各関係機関をはじめとする関係者及び地域住民に対し、地域福祉保健計画の啓発を進めました。また、地域活動の担い手確保につなげるため、児童向け地域福祉保健計画啓発媒体「わたしたちの街の であい ささえあい わかちあい」を発行し、区内小学校へデータ提供するとともに、区ホームページへ掲載しました。

- ・データ提供小学校数：22校



《児童向け地域福祉保健計画啓発媒体》

- (2) 第4期計画推進にあたり、庁内及び関係機関の連携強化を図りつつ地域支援を行えるよう、職員を対象とした研修を実施しました。

- ・職員向け計画説明会：4月26日、4月28日
- ・職員向け研修：10月11日、1月30日

### 3 地域福祉保健活動補助金

地域での福祉保健活動の活性化や取組支援を進めるため、都筑区社会福祉協議会の運営する「つづき あい基金」助成金への補助を行いました。

- ・「つづき あい基金」助成団体：3団体4事業

### 4 必要な人に支援が届く仕組みづくりの検討・支えあい連絡会の開催

地域の状況やテーマなどに応じて、必要な人に支援が届く地域の仕組みづくりや柔軟なネットワークづくりについて、地域ケアプラザと連携し、各地域の支えあい連絡会等の場を活用して検討を進めました。



## 5 計画情報誌の発行

第4期計画を推進する各地域の取組状況等の情報を区全体で共有し、活動の活性化等を図るため、地域福祉保健計画情報誌「つづき あい通信」を発行しました。

- ・区ホームページ上での発信：12月



《つづき あい通信》

## 6 都筑区地域福祉保健計画推進委員会等の運営

第4期計画の推進状況やその方向性、地域の取組について学識経験者や区民の皆様による意見交換を行うため、都筑区地域福祉保健計画推進委員会を開催しました。

また、併せて地域福祉保健の分野ごとの取組状況や課題の共有を行うため、子ども・青少年、高齢者、障害者、健康づくり及び生活困窮の各分野における意見交換会を開催しました。

- ・推進委員会開催：12月26日

## 7 「つづき あいフォーラム」の開催

第4期計画推進のための各地区の活動や取組を共有する場として、「つづき あいフォーラム」とパネル展を開催しました。

- ・つづき あいフォーラム：2月18日、都筑公会堂、  
 テーマ：ひろげよう！わたしたちのまちの「であい ささえあい わかちあい」  
 内容：ミニ講演会（「共感、つながり、伴走ですすめる地域づくり」）、地域活動者へのインタビュータイム
- ・パネル展：2月16日～22日、区民ホール



《つづき あいフォーラム》

<p>主な増減</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画情報誌のホームページ配信による印刷製本費の減</li> </ul>
-------------	-----------------------------------------------------------------------------

### 施策3 いきいきと健やかに暮らせるまち

15 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業 <b>重点</b> <b>拡充</b>	R4 予算額	R4 決算額	差引
	1,242万8千円	1,083万1千円	159万7千円

#### 1 夫婦で子育て応援事業

就労をしている妊婦やパートナーが参加しやすいように、休日開催の両親教室を地域子育て支援センターPopola（以下ポポラ）及びポポラサテライト会場で実施しました。

- ・ポポラ：毎月第4土曜日、参加人数延べ143組
- ・ポポラサテライト：毎月第2土曜日、参加人数延べ119組



《休日両親教室の様子》

#### 2 0歳児地域育児教室（赤ちゃん会）

地域育児教室について、令和4年度から会場数を拡大するなど実施回数を増やし、仲間づくりや育児相談をしました。

176回開催（16会場×11月（8月は休会）、参加人数延べ3,016人）



《赤ちゃん会の様子》

#### 3 外遊び広め隊事業

区内の子育て支援の団体・関係者や乳幼児の親子を対象に、外遊びの大切さを伝え、自主的に外遊びを継続していけるような研修会を区内の公園等で開催しました。また、地域の外遊び団体を対象にした情報交換会（外遊び連絡会）を実施しました。

- ・外遊び研修会：10月28日開催 参加人数19人
- ・外遊び連絡会：1月31日開催 参加人数14人

#### 4 子育てネットワーク事業

ポプラや区社会福祉協議会、地域ケアプラザと協力して、関係機関の情報・意見交換・研修(子育てネットワーク会議)及び子育て支援の団体・関係者の交流会(子育てネットワーク交流会)を実施しました。

- ・子育てネットワーク会議：第1回5月25日開催 参加人数25人  
第2回2月22日開催 参加人数19人
- ・子育てネットワーク交流会：12月5日開催 参加人数87人

#### 5 育児不安を抱える養育者への支援

育児不安を抱える養育者を対象に、育児に対する悩みや現在の心情を心理士が傾聴し、助言を行いました。また、2歳児のイヤイヤ期への対応について学ぶ「2歳児講座」を開催しました。

- ・2歳児講座：第1回8月17日開催 参加人数18人  
第2回1月18日開催 参加人数26人

#### 6 虐待等相談及び養育支援事業

児童虐待を予防するため、養育にうまく対応できていない保護者に対して、訪問員や相談員が継続的な養育支援を行いました。

訪問件数 延べ455件

#### 7 地域が支える子ども達の居場所づくり事業

様々な課題を抱えた小中学生を対象に、生活習慣や学習習慣を身に付けられるきっかけとなるよう、地域の協力を得て、居場所づくり事業を実施しました。また、送迎の必要がある児童等の支援を行いました。(南部方面で実施、原則毎週火曜日)

- ・参加者数延べ137人

#### 8 学齢期の子どもや保護者への支援

未就学児のいる保護者を対象に、いわゆる「小1の壁」の不安を軽減するため、講演会(動画配信を含む)や放課後児童育成事業の紹介を行い、あわせて、各小学校PTAの協力を得て同じ小学校に入学予定の保護者同士の情報交換の場を設けました。

- ・「小学校入学前に知っておきたい大切なこと～今から備える「小1の壁」～」  
(講演会及び情報交換会)：9月10日、都筑区役所

参加組数 102組

また、講演会動画を後日アーカイブ配信すると共に、小学校入学説明会等で広く周知を行いました。





《講演会の様子》



《情報交換会の様子》

### 9 「トツキトウカYOKOHAMA」を活用した命の授業

小学6年生を対象に、助産師や保健師による講義と保護者による詩集の朗読を通して、子どもの健やかな成長を願う保護者の気持ちや命の尊さを知り、自分や周りの人を大切にすることを育むため、学校や保護者等と協力して命の授業を区内の市立小学校で実施しました。

- ・区内の全市立小学校（22校）の6年生全クラス（9月～2月）

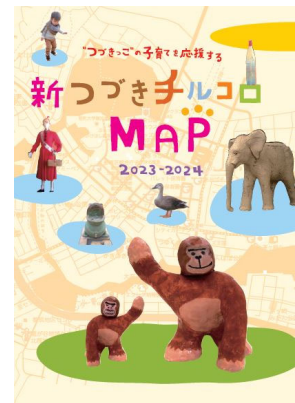
### 10 赤ちゃんふれあい体験事業

中学生を対象に、乳幼児との触れ合いを通して、命の尊さを実感し、保護者への感謝の気持ちや子育てに対する意識を醸成するため、学校や地域の協力を得て、区内の市立中学校の生徒を対象に実施しました。

1月6日開催 会場：新栄地域ケアプラザ

### 11 区民による子育てマップの作成（つづきチルコロMAP）

区民の皆様から寄せられた外遊びや公園等の情報を掲載した子育てマップ（つづきチルコロMAP）をポポラと協働して更新し、発行しました。（3月、12,000部）



<p>主な増減</p>	<p>広報手段へのデジタル活用による印刷製本費等の減</p>
-------------	--------------------------------

16 保育所を拠点とした 地域子育て支援事業	R4 予算額	R4 決算額	差引
	341 万 5 千円	283 万 7 千円	57 万 8 千円

### 1 おひさま広場（園庭開放）

市立保育所が、子育て中の保護者にとって地域の身近な子育て支援機関となるよう、保育協力者を配置して園庭を開放し、園庭で子どもを遊ばせながら、育児相談などができるようにしました。

- ・ 4園計 917 回実施、参加者延べ 6,275 人

### 2 休日園庭開放

市立保育所の中川西保育園及び茅ヶ崎南保育園において、民生委員・児童委員など地域の協力者の見守りにより、毎月第3日曜日に園庭を開放しました（8月・雨天を除く）。

- ・ 2園計 20 回実施、参加者延べ 458 人

### 3 給食・離乳食体験事業

地域の親子が市立保育所の給食や離乳食を体験する場を設け、市立保育所職員が食事のとり方や作り方について保護者へ助言しました。

- ・ 4園計 35 回実施、参加者延べ 167 人

### 4 ほいくえん広場

市立保育所、認可保育所等が合同で、保育所の遊びの紹介や育児相談などを行いました。実施にあたっては、親子が参加しやすいよう、地域ごとに開催しました。

- ・ Aエリア(東山田、仲町台周辺) 9月2日 東山田地域ケアプラザ 参加者 34 人  
11月1日 せせらぎ公園 参加者 35 人
- ・ Bエリア(中川・北山田周辺) 11月9日 滝ヶ谷公園 参加者 66 人
- ・ Cエリア(茅ヶ崎周辺) 10月27日 都筑中央公園 参加者 51 人
- ・ Dエリア(池辺町、川和町周辺) 9月16日 都田小学校コミュニティハウス 参加者 34 人  
10月18日 みどり保育園園庭 参加者 81 人

### 5 積木交流

市立保育所にある合計2万個の積木を使い、地域の親子が参加できる積木遊びの育児講座を区民ホールで開催するなど、「つみきのつづき」を広めました。

- ・ つみきであそぼう～育児講座～：11月19日 区民ホール 参加 44 組



《育児講座の様子》

主な増減

積木交流について、内部講師を活用して実施したこと等による委託料の減

17 つづき健康づくりサポート事業 <b>拡充</b>	R4 予算額	R4 決算額	差引
	219万3千円	189万4千円	29万9千円

**1 生活習慣病・がん予防啓発事業**

生活習慣病やがんについて、さまざまな機会をとらえ、チラシやリーフレットを活用した啓発を行いました。

また、ウォーキングポイント事業を普及し、区民の皆様様の運動習慣の向上・継続を図るため、地域で健康づくりに携わる方を対象に、ウォーキング講座を開催しました。

- ・ 3歳児健診保護者を対象とした乳がん啓発  
： 24回、乳がん自己触診体験者 470人
- ・ 食育・健康フェアにおけるがん啓発  
： 6月11日、大腸がんクイズラリー参加者 51人、乳がん自己触診体験者 39人
- ・ 保健活動推進員等健康づくりリーダーを対象としたつづけるウォーキング講座  
： 11月30日、参加者 18人



《食育・健康フェアにおけるがん啓発》

**2 食育推進事業**

15歳未満の人口割合が高い区の特徴に応じ、子どもたちが将来にわたり健全な食生活を送ることができるよう小中学校・保育園等と連携し、情報交換会やイベントを実施しました。

また、子育て支援施設での食事相談にあわせて、養育者の関心が高い乳幼児期のむし歯予防や歯磨きに関する歯科相談を実施しました。

- ・ 第1回食育情報交換会  
： 7月15日、参加者 34人
- ・ 第2回食育情報交換会  
： 12月8日、参加者 36人
- ・ 食育・健康フェア： 6月11日、来場者延べ 781人  
\*併催：パネル展 6月8日～6月14日
- ・ 子育て支援事業会場等における相談：食事相談 20回 115組・歯科相談 10回 66組
- ・ はじめての離乳食：10回、87組



《食育・健康フェアでの野菜摂取量測定》

**3 地域の健康づくり応援事業**

連携・協力を促し地域の健康づくり活動の充実を図るため、保健活動推進員や食生活等改善推進員の活動支援や各推進員の合同の研修会を行いました。

- ・ 保健活動推進員・食生活等改善推進員合同研修  
： 10月12日、保健活動推進員 25人・食生活等改善推進員 10人



#### 4 健康づくりネットワーク事業

生涯にわたる健康づくりを推進するため、医師会・歯科医師会・薬剤師会や保健活動推進員、地域ケアプラザ等の関係機関・団体と「成人期における健康づくり」について情報交換・意見交換を行いました。

- ・健康づくりネットワーク連絡会：12月13日、7団体参加

#### 5 こどものお口の健康事業

歯みがきに対する不安が大きい1歳児と養育者に対して、歯みがきの方法やむし歯予防の知識や手法を伝えるための教室を開催しました。

また、乳幼児時期から学齢期における、食べる・話す・呼吸するなどの機能が十分に発達していない「口腔機能発達不全症」について、専門職の指導力を強化するため、歯科医師会と連携して、歯科医師、歯科衛生士、栄養士等を対象にした研修会を開催しました。

- ・1歳児の歯みがき教室  
区役所会場：7回、参加者54組  
出張会場：6回、参加者32組
- ・乳幼児健診従事者向け口腔機能発達不全症研修：12月1日、参加者60人

#### 6 健康情報提供事業

来庁者の皆様が健康づくりに関心を持っていただけるよう、保険年金課待合スペースで取り組んでいるストレッチ映像の放映や健康づくり文庫設置等を引き続き実施しました。

主な増減	コロナの影響による業務の中止や縮小ため、生活習慣病・がん予防啓発事業について、消耗品費の減
------	-----------------------------------------------



18 地域で支える高齢者支援事業	R4 予算額	R4 決算額	差引
	53万4千円	39万1千円	14万3千円

### 1 認知症普及啓発事業

#### (1) 認知症フォーラム（9月10日）

認知症の症状や治療方法、相談先、経過等、関連する情報を広く提供し、認知症だけでなく認知症の方や家族等への対応等についても、理解を深めるための講演会を開催しました。

（参加者：172人）

#### (2) 認知症サポート連絡会（月1回、年12回）

地域の方や認知症に関わる団体等が集まり、認知症普及啓発活動の企画や課題検討、各グループの活動に関する情報交換を行いました。



《4年度認知症フォーラムの様子》

### 2 認知症人材育成事業

地域で認知症についての理解を深める活動に携わる人材（キャラバンメイト等）を育成するための講座を実施しました。

（開催数：3回、参加者数：延べ51人）

### 3 福祉保健情報提供事業

高齢者等からニーズが高い介護予防や認知症、区内施設等に関する情報をまとめた「都筑区シニア利用施設マップ」や介護予防に関するパンフレット等を発行し、窓口等で配布しました。

- ・主な配布場所：区役所、区民活動センター、  
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ
- ・印刷数：1,500部（更新版）



《都筑区シニア利用施設マップ》

主な増減	認知症普及啓発事業において、講師謝金が減少したことによる報償費の減
------	-----------------------------------

19 障害者交流啓発事業	R4 予算額	R4 決算額	差引
	110万2千円	40万円	70万2千円

### 1 福祉農園事業

障害者と地域の交流を行い、つながりを作る啓発事業を行いました。「～福祉農園～障害者と地域の共生フェスタ」(12月2日～7日)では、区民ホールにて障害者施設の事業所紹介のパネル展などを行いました。(アンケート回答者数:115人)

※障害児・者による芋の収穫体験は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、令和4年度は参加対象を限定して実施しました。



《4年度～福祉農園～障害者と地域の共生フェスタパネル展》  
年齢や障害のあるなしにかかわらず、地域で暮らす方から動物をモチーフとした作品を募集してパネルに貼り合わせ、区民ホールに自撮りスポット「つづきどうぶつえん」を設置しました。あわせて、障害のあるお子さんとご家族の写真展を開催し、地域共生社会の理解促進を図りました。

### 2 障害者地域啓発事業

#### (1) 区民まつり福祉バザー (11月3日)

地域住民が参加する区民まつりにおいて、障害者が参加しやすい環境を作ることで、交流の機会としました。

#### (2) 障害者グループホームの地域防災拠点防災訓練への参加支援 (9月～2月)

障害者が地域防災拠点の防災訓練に参加し、地域住民とお互いに顔の見える関係を築くとともに、障害者自身が拠点の役割や機能を理解していただく機会としました。

### 3 障害者施設支援事業

障害者の社会参加につなげるため、区民ホール、駅構内等において障害者施設が自主製品の販売活動を支援しました。



《区民ホール販売の様子》

主な増減

新型コロナウイルス感染拡大の影響による福祉農園事業の縮小に伴う減

## 施策4 安全・安心なまち

20 災害にそなえる 自助・共助の推進事業 <b>重点</b> <b>拡充</b>	R4 予算額	R4 決算額	差引
		489万6千円	361万2千円

### 1 地域防災拠点運営委員会の運営支援

地域防災拠点運営委員を対象として、地域防災拠点の開設・運営などに関する研修会（3回）を開催するとともに、地域防災拠点における訓練を支援しました。

・都筑区地域防災拠点運営委員会連絡協議会（5月25日）35人

・地域防災拠点運営委員研修会

第1回 6月25日 16人

第2回 7月3日 16人

第3回 11月27日 36人



《地域防災拠点訓練の様子》

### 2 地域防災拠点の通信機器等の整備

区本部と各地域防災拠点との通信体制の確保のために整備しているアマチュア無線機器等について、9台の更新を予定していましたが、国際情勢の影響を受けて、必要な仕様の無線機器の調達が困難となり、更新を見送りました。

### 3 防災・減災講演会、自治会町内会等向け出前講座及び研修会の開催

大規模地震や風水害への備えなどについて、区民や自治会町内会等を対象とした講演会等を開催し防災・減災に関する意識啓発を図りました。

・防災・減災講演会 3月6日 参加者 51人

テーマ：身近なグッズから防災力アップ&

女性が造る地域防災

講師：あんどろ りす氏



《防災・減災講演会の様子》

・出前講座：13回 参加者 457人

（自治会町内会等8、小学校1、その他4）



《出前講座の様子》

#### 4 災害時要援護者支援事業（つづき そなえ事業）

地域の実情に合った要援護者支援に関する活動等を支援しました。

3年度に実施した自治会町内会を対象にしたアンケート調査結果等も踏まえ、災害時に自力避難が困難な要援護者の安否確認や避難支援等が円滑に行われるよう、地域の取組を支援しました。

支援の一環として、災害時要援護者名簿の提供を推進するとともに、地域での活動が推進されるよう連合町内会自治会に対して、補助金を交付しました。また、地域と地域ケアプラザなどの関係機関が、要援護者の避難支援に関する意見交換を行う場を設けました。さらに、取組の必要性や取組例を紹介する冊子を作成しました。



- ・補助金交付地区：13 地区、冊子発行部数：8,000 部

《そなえあいブック》

#### 5 鶴見川水系水害に関する連絡会の開催

区内を流れる鶴見川・大熊川、早淵川の流域にお住まいの地域の方とともに、地域の現状や課題、発災時に備えた取組などについて意見交換を行い、地域と一体となって水害対策に関する取組を進めました。（2月15日）22人

#### 6 今すぐ取り組む健康づくり

災害の備えを促すため、健康づくりの観点から作成した「食の備蓄」「口腔ケア」「衛生対策」に関する冊子「災害時にも役立つBOOK」を増刷し、自治会町内会や地域防災拠点等で広く区民の皆様に配布しました。あわせて様々な機会をとらえて啓発しました。

- ・災害時にも役立つBOOK  
配布部数：32,269 部  
配布先：自治会町内会、転入者、乳幼児健診受診者、窓口等
- ・出張講座 3回実施、参加者 58 人

#### 7 災害時のペット対策事業

災害時のペット避難について、飼い主一人ひとりが適した方法を自ら考えられるよう、飼い主向け講演会や「我が家のペット防災パネル展示会」を実施し、飼い主に対する啓発を進めました。また、地域防災拠点においてペット同行避難訓練を実施していただけるよう、ペット防災のスターターキット（受付物品等）を配布するなどして各拠点の取組を支援しました。

- ・地域防災拠点取組支援  
地域防災拠点運営委員会連絡協議会でペット同行避難等の説明  
（5月25日）  
地域防災拠点運営委員研修会でペット同行避難等の説明  
（6月25日、7月3日）
- ・飼い主啓発  
広報よこはま都筑区版9月号特集ページ（ペット防災：震災時・風水害時）  
我が家のペット防災パネル展示会（動物愛護週間イベント：9月21日～27日）  
ペット防災講演会（9月23日、11月27日、令和5年2月9日）





**わが家のペット防災**

名前  ちゃん

種類 マルチーズ



※ 1 歳



**ペット防災アイデア**

★自宅から地域防災拠点への道のりを散歩の経路に入れることで普段からペットだけでなく飼い主もしもの時に迷わず避難できるように習慣づけます。同行避難訓練の一貫です。(写真は地域防災拠点の藤田小学校です。)

《我が家のペット防災パネル展示会》

主な増減

都筑区災害時要援護者支援事業「つづき そなえ」補助金交付の残

21 安全・安心なまちづくり事業	R4 予算額	R4 決算額	差引
	958万3千円	893万9千円	64万4千円

### 1 交通安全運動

都筑区交通安全対策協議会を中心に、都筑警察署等関係機関・団体と連携しながら交通安全運動を実施しました。さらに、日々の交通安全運動に貢献された皆様に顕彰しました。

また、子どもたちの安全・安心のため、学校や警察と連携し、スクールゾーン標示の整備や交通安全啓発等を実施し、各小学校のスクールゾーン・防犯対策協議会の支援を行いました。

- 交通安全運動期間中の街頭啓発活動  
⇒実施11回

- はまっ子交通あんぜん教室  
⇒9校（5月 1校、6月 5校、7月 1校、10月 1校、11月 1校）

- スクールゾーン・防犯対策協議会の開催  
⇒24校（区内22校+区外2校）6月9校、7月7校、9月7校、11月1校実施



### 2 放置自転車対策事業

自転車等放置禁止区域（センター南、センター北、仲町台、都筑ふれあいの丘、北山田、東山田、中川、川和町、鴨居の各駅周辺）において適切な自転車利用を行うよう、監視指導を行う監視員を配置（47回/月、計564回）しました。10月には駅周辺で啓発チラシ等を配布し、放置自転車防止等呼びかける放置自転車クリーンキャンペーンを行いました。



### 3 地域防犯活動推進事業

地域防犯活動を行う自治会町内会及び地域の自主防犯のための青色回転灯パトロール隊に対し助成金を交付するなど支援しました。

主な増減	放置自転車監視委託の入札による残
------	------------------

22 危機管理対策推進事業	R4 予算額	R4 決算額	差引
	976万5千円	986万3千円	△9万8千円

### 1 関係機関と連携した災害対応力の向上

(1) 「災害対策連絡協議会」、「帰宅困難者対策部会」、「防災計画部会」を開催し、警察署等の関係機関・団体と情報共有や意見交換を行いました。

- ・災害対策連絡協議会 5月9日
- ・帰宅困難者対策部会 11月11日
- ・防災計画部会 3月（書面開催）



《災害対策連絡協議会》

(2) 災害医療体制検討プロジェクト会議を開催し、区医師会等の関係機関・団体と全市共通の災害時医療体制をふまえた区の災害医療体制や、災害医療に関する訓練について検討しました。

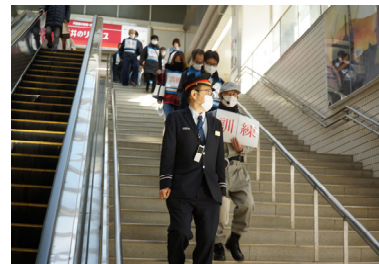
- ・災害医療体制検討プロジェクト会議（5月、11月、3月）

(3) 警察署及び消防署等と実施する水防訓練や、区医師会等と実施する災害医療対策訓練及び交通事業者や帰宅困難者一時滞在施設等と実施する帰宅困難者対策訓練を通じて、関係機関・団体との更なる連携強化を図りました。

- ・鶴見川水防訓練：6月19日 川和町内会エリア、川和小学校  
参加者数：86人（川和町内会、都筑消防団、都筑消防署、横浜建設業協会都筑区会、都筑警察署、都筑区役所）
- ・災害医療対策訓練（情報伝達訓練）：3月13日  
参加機関：都筑区医師会、都筑区薬剤師会、昭和大学横浜市北部病院、都筑区役所  
訓練内容：FAX、Eメール、LINEを活用し、診療所等の開設状況を区役所へ連絡
- ・帰宅困難者対策訓練：12月9日 市営地下鉄センター北駅、メモワールホール都筑  
参加者数：47人（帰宅困難者一時滞在施設（11施設）、東急バス、横浜市交通局、都筑警察署、都筑消防署、都筑区役所）



《鶴見川水防訓練》



《帰宅困難者対策訓練》

(4) 区災害対策本部運営訓練を実施することで、区職員の災害対応力を向上させ、区本部体制の強化を図りました。

- ・区災害対策本部運営訓練：3月8日 都筑区役所  
参加者数：40人



《区災害対策本部運営訓練》

## 2 防災啓発事業の実施

発災時に迅速かつ的確な避難行動を取っていただくため、防災・生活マップ等を区民の方へ配布し、日頃から災害対策について理解を深めていただけるよう啓発を図りました。

- ・防災・生活マップ：20,000部増刷
- ・浸水ハザードマップ：20,000部増刷

## 3 風水害対策等の推進

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難場所運営を行うため、間仕切りや手指消毒用アルコールなどの消耗品を補充しました。
- (2) 防災用スピーカーの安定した運用を行うため、区役所設置の放送制御装置の機器更新を行いました。また、鶴見川及び早淵川沿いに設置した防災用スピーカーの放送設備についても、順次更新をしました。(6月)



《防災用スピーカー》

## 4 災害時における情報収集及び情報発信

災害発生時や災害発生が見込まれる際、区内の自治会町内会長等へ避難情報等を一齐に電話で知らせる緊急時情報伝達システムを運用するとともに受伝達訓練を実施しました。

- ・緊急時情報伝達システムの受伝達訓練：6月3日 登録者数：168人



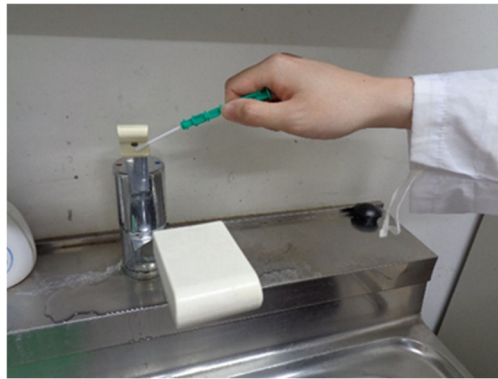
23 食と暮らしの安全推進事業	R4 予算額	R4 決算額	差引
	78万8千円	75万1千円	3万7千円

## 1 食の安全確保事業

### (1) 食品取扱施設の衛生確保

横浜市食品衛生監視指導計画に基づく食品取扱施設への監視指導を、効果的・効率的に実施しました。特に、大量に調理を行う学校給食施設、テイクアウトやデリバリーを行う飲食店については、調理器具や従事者の手指等の拭取りを行い、検査機器を用いて洗浄度を数値化することにより、わかりやすい衛生指導を行いました。

- ・検査機器を用いた衛生指導：小学校給食等 26 施設



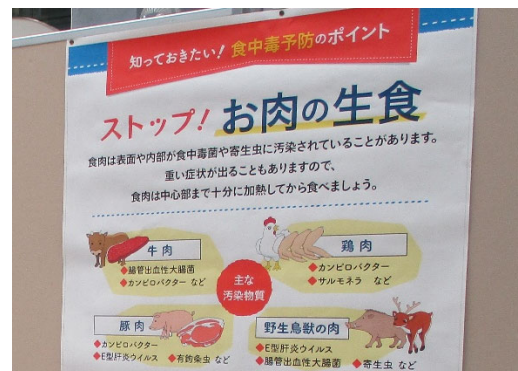
《調理に用いる水道蛇口の拭取り》

### (2) 食の安全に関する情報発信

食中毒予防パネル展や地域活動の担い手に向けた出前講座の実施により、食中毒予防に関する情報を発信しました。イベントや講座では、消毒液の適切な使用方法をプリントしたステッカーや食中毒予防リーフレットを用いて、ノロウイルスをはじめとした食中毒や感染症予防について周知しました。

- ・食中毒予防パネル展：6月8日～14日、8月5日～12日
- ・食中毒予防キャンペーン：7月27日
- ・区民まつり：11月3日

※食中毒予防キャンペーン及び区民まつりは都筑区食品衛生協会と協力し、実施しました。



《食中毒予防パネル展》

## 2 暮らしの衛生確保事業

### (1) 猫等による被害防止に対する支援

区民生活における猫・ねずみ・ハチなどの被害に対する支援として、被害防止器具の貸出しなどを実施しました。

- ・猫侵入防止器貸出：10件
- ・ねずみ捕獲機の貸出：6件
- ・ハチの巣駆除機器の貸出：10件

### (2) 区民が利用する施設の衛生確保

CO<sub>2</sub>濃度測定器を用いて、理美容所等の換気状態を数値化することにより、わかりやすい衛生管理の指導を行いました。

- ・CO<sub>2</sub>濃度測定器による測定：13施設

## 3 動物適正飼育推進事業

動物愛護週間に長寿ペット表彰、飼い主セミナー等を実施するとともに、区民まつり等において、ペットの飼育マナー及び適正な飼育などに関する啓発を実施しました。

＜動物愛護週間 9月20日～26日：環境省（動物愛護管理法第4条）＞

- ・ペット防災用品等の展示：9月21日～27日
- ・長寿ペット表彰（大型犬（13歳以上）、中小型犬（15歳以上）、猫（17歳以上））
- ・飼い主セミナーの開催：9月22日



《動物愛護週間イベント》



《ペット防災用品等の展示》



## 施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

24 環境にやさしいまち推進事業	R4 予算額	R4 決算額	差引
	136万9千円	113万9円	23万円

### 1 SDGs 啓発

親子向け体験型ワークショップ等を通して、地球温暖化や環境問題の観点から SDGs について学ぶ SDGs 環境フェアを開催しました。

- ・ SDGs 環境フェアパネル展・イベント：2月26日～3月2日（3R夢週間と同時開催）  
参加者：延 300人

### 2 温暖化対策

区庁舎に設置されている緑のカーテンの維持管理を行うとともに、区内小中学校を対象に緑のカーテンの設置支援を行いました。（12校）



《SDGs 環境フェアの様子》



《小学校緑のカーテン》

### 3 クリーン・ヨコハマ3R夢推進事業

#### (1) クリーン推進事業

きれいな街を推進するため、自治会町内会等が実施する地域清掃の支援、駅周辺のポイ捨て防止啓発、不法投棄防止対策、農業専用地区の一斉清掃の支援を行いました。

- ・ 清掃ごみ袋配付による地域清掃の支援：80団体
- ・ センター南駅前ポイ捨て防止キャンペーン：中止（コロナ禍のリスク等考慮）
- ・ 農業専用地区一斉清掃：折本（6月）、池辺（10、1月）、新羽大熊（11月）、佐江戸宮原（11月）

#### (2) ヨコハマ3R夢推進事業

3R行動推進のため、つづき3R夢週間をはじめとする各種イベントや赤ちゃん会など様々な機会を活用した市民等への啓発、「都筑区の子どもの読書活動支援」を目的とした市民団体「つづきっこ読書応援団」との協働による、区内中学校や区民の皆様を対象にしたリユース図書の募集・回収、集まった図書の区内小学校への配付、令和4年2月から開始したフードドライブの推進など食品ロス削減につながる取組を資源循環局等と連携し進めました。

- ・つづき3R夢週間パネル展・イベント：5月26日～6月1日、2月26日～3月2日  
 (5/28 区民ホールでイベント実施：啓発物品配布100人  
 2/26 区民ホールでイベント実施：啓発物品配布100人)
- ・赤ちゃん会での3R夢啓発：9月～3月(15会場)
- ・リユース図書の配付：11月(区内小学校等)
- ・フードドライブ活動：集まった食品903点を区社協へ提供



《つづき3R夢週間パネル展・イベントの様子》



《小学校でのフードドライブの様子》



#### 4 都筑区地球温暖化対策・3R夢推進会議

街の美化や3R夢普及啓発の取組が顕著だった団体・個人を表彰しました。また、温暖化対策・3R夢に関する情報を共有する会議はコロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催としました。

表彰式(3団体、6個人)：5月27日

主な増減	クリーン推進事業における、契約方法変更による消耗品費の減
------	------------------------------

25 つづき水と緑の魅力アップ推進事業 <b>拡充</b>	R4 予算額	R4 決算額	差引
		98万3千円	89万2千円

## 1 都筑区花いっぱい運動の推進

### (1) 花と緑の親しみづくりイベントの開催

ガーデニング講座を開催することで、花や緑を大切に作る心を醸成するとともに、各家庭から地域に花や緑が広がる契機としました。

(10月：38人参加)

また、都筑の四季折々の写真を対象としたフォトコンテストの募集を行いました。

(募集期間：令和4年10月1日～令和5年7月31日)



《ガーデニング講座の様子》

### (2) 「はやぶちがわ・ろうばやと早淵川・老馬谷ガーデン (HRG)」の維持・管理

地域及び東京都市大学と連携し、早淵川沿いの緑の拠点であるHRGの維持・管理に取り組みました。

《はやぶちがわ・ろうばやと早淵川・老馬谷ガーデン》

第33回全国都市緑化よこはまフェア（平成29年）の開催を契機に、地域・東京都市大学・区役所の連携により道路局所管河川用地を新たな緑の魅力スポットとして整備  
月2回の定例作業により四季折々の花が楽しめる場所として維持



《HRGでの作業の様子》

## 2 「都筑区水と緑の散策マップ」の活用

「都筑区水と緑の散策マップ」を活用し、都筑区の環境資源の魅力を市民に発信しました。

26 ハマロード・サポーター、 愛護会等活動推進事業	R4 予算額	R4 決算額	増△減
	<b>重点</b> <b>拡充</b>	346万4千円	333万2千円

### 1 ハマロード・サポーター事業

清掃等の美化活動の支援に加えて、各団体（49 団体）が活動拠点で行っている花壇づくりのための花の種や苗などを提供するほか、夏の暑い時期の活動に配慮し、活動時の飲料水を提供しました。

また、8月の「道路ふれあい月間」等で活動をPRするとともに、パネル展を開催しました。

- ・パネル展示：8月26日～8月31日開催、区民ホール



《パネル展の様子1》

### 2 愛護会活動推進事業

都筑区公園愛護会（152 団体）及び水辺愛護会（3 団体）の総会・幹事会等を運営支援し、パネル展やPR活動を実施しました。

公園の面積が広く、愛護会活動が活発な都筑区では、東方公園内の一画で、愛護会向けの花苗などを生産し提供しました。

- ・総会：7月3日開催
- ・パネル展：6月29日～7月6日開催、区民ホール、展示団体17団体



《パネル展の様子2》

### 3 活動ステップアップ相談事業

専門的な支援を求める団体からのニーズに応えるため、外部アドバイザーによるサポートのための技術講座を開催しました。

- ・技術講座（東方公園及びふじやとのみちで実施）
  - 第1回：9月21日 夏の花壇の手入れ講座（株分け、トリミングなど）
  - 第2回：11月16日 秋の花を楽しむための手入れ講座（植物の整理など）



《夏の花壇の手入れ講座》

- 第3回：3月22日 春を迎える準備講座（除草、補植など）

講師：佐々木知幸氏（造園家、ネイチャーガイド、樹木医）、金子美萌氏

また、自転車の通行ルール・マナーのより効果的な周知・啓発のため、アイコンや啓発動画を作成し、Web 媒体（HP、SNS）を中心に啓発活動を展開しました。



#### 4 ナチュラルガーデン普及事業

ローメンテナンスの園芸手法「ナチュラルガーデン」を分かりやすく解説した技術資料を作成、配布しました。



《ナチュラルガーデン》



#### 5 ちょっとボランティア推進事業

「ちょっとした掃除等なら個人的に協力できる」といった潜在的な区民協働の担い手の方々に、緑道など身近な公共空間の美化・清掃等に取り組んでいただくため、土木事務所としてサポートできることなどをまとめた案内カードや、活動に必要な道具や清掃用品を提供しました。

主な増減	活動団体からの要望に応じたことによる備品等購入費の減
------	----------------------------



令和 5 年度  
都筑区自主企画事業の  
執行状況について

令和 5 年 9 月 5 日  
都 筑 区

## 目 次

### 令和5年度 都筑区自主企画事業説明書

#### 自主企画事業費

##### 施策1 子育て世代をはじめ、あらゆる世代が住み続けたいと思えるまち

1	妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業	3
2	保育所を拠点とした地域子育て支援事業	6
3	つづき健康づくりサポート事業	8
4	食と暮らしの安全推進事業	10
5	自治会町内会の地域運営応援事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">拡充</span>	12
6	地域活動の活性化事業（区民活動センター・読書活動・青少年のボランティア） <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">拡充</span>	15
7	都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業	18
8	障害者交流啓発事業	19
9	まちづくり総合調整事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">拡充</span>	20
10	危機管理対策推進事業	22
11	災害にそなえる自助・共助の推進事業	23
12	安全・安心なまちづくり事業	25
13	広報・広聴事業	26
14	スムーズ区役所事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">拡充</span>	27

##### 施策2 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

15	横浜ビー・コルセアーズを活かしたホームタウン活動推進事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">新規</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">拡充</span>	28
16	文化とスポーツであふれるまちづくり推進事業	30
17	区民の交流促進事業（区民まつり・ドイツクリスマスマーケット）	32
18	在住外国人支援・国際交流事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">拡充</span>	33
19	メイドインつづき推進事業	35
20	商店街の魅力発信事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">拡充</span>	37

##### 施策3 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

21	環境にやさしいまち推進事業	38
22	みんなで花と緑のまちづくり事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">拡充</span>	40

※事業説明書内に記載されている日程は変更になる可能性があります。

## 施策1 子育て世代をはじめ、あらゆる世代が住み続けたいと思えるまち

1 妊娠期から学齢期までの切れ目のない 子育て支援事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	1,003 万 9 千円	1,242 万 8 千円	△238 万円 9 千円

地域・学校・関係団体・区役所等が連携し、子育て支援のネットワークの充実、育児不安を抱える養育者への支援、様々な課題を抱えた子ども達の居場所づくりなど、妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援に取り組みます。

### 1 夫婦で子育て応援事業

就労をしている妊婦やパートナーが参加しやすいように、休日開催の両親教室を地域子育て支援センター P o p o l a (以下「ポポラ」) 及びポポラサテライト会場で実施します。

両会場とも月1回実施し、安定期に入り初めて出産を迎える妊婦とパートナーがタイムリーに受講できるようにします。

- ・ポポラ：毎月第4土曜日、参加人数延べ46組（7月末時点）
- ・ポポラサテライト：毎月第2土曜日、参加人数延べ43組（7月末時点）



《休日両親教室の様子》

### 2 0歳児地域育児教室（赤ちゃん会）

地域育児教室について、実施回数を増やす等、引き続き仲間づくりや育児相談を行う機会の提供をします。

- ・18会場72回開催、参加人数延べ1,179人（7月末時点）



《赤ちゃん会の様子》

### 3 子育てネットワーク事業

地域の子育て支援の充実を図るため、関係機関との情報交換を行うほか、広く子育て支援に関わる方が参加する交流会を行います。

- ・子育てネットワーク会議：第1回5月26日 参加人数28人、第2回2月28日
- ・子育てネットワーク交流会：12月4日



《第1回 子育てネットワーク会議の様子》

### 4 育児不安を抱える養育者への支援

育児不安を抱える養育者を対象に、電話や訪問等で継続的な支援を行うとともに必要に応じて心理士が個別の相談に対応します。

また、2歳児のイヤイヤ期への対応について学ぶ「2歳児講座」を、実施回数を増やし開催します。

- ・第1回5月17日 参加人数19人
- 第2回8月23日、第3回11月1日、第4回2月7日

### 5 地域が支える子ども達の居場所づくり事業

様々な課題を抱えた小中学生を対象に、生活習慣や学習習慣を身に付けられるきっかけとなるよう、地域の協力を得て、居場所づくり事業を実施します。また、送迎の必要がある児童等の支援を行います。(南部方面で実施、原則毎週火曜日)

参加人数延べ45人(7月末時点)

### 6 学齢期の子どもや保護者への支援

未就学児のいる保護者を対象に、いわゆる「小1の壁」の不安を軽減するための講演会(動画配信を含む)を行うとともに、各小学校PTAの協力を得て同じ小学校に入学予定の保護者同士の情報交換の場を設けます。

- ・「小学校入学前に知っておきたい大切なこと～今から備える「小1の壁」～」  
(講演会及び情報交換会)：9月9日

【区配事業】母親(両親)教室(こども青少年局)

妊娠・出産・育児について正しい知識を身につけるために母親(両親)教室(平日月1コース3回)を実施します。

**【区配事業】 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局）**

児童虐待防止の広報啓発、こども家庭支援課職員を対象にした人材育成のための職員研修を2回、都筑区児童虐待防止連絡会の関係機関のスキルアップを目的とした関係者向け講演会を1回実施します。

**【区配事業】 放課後児童育成事業（こども青少年局）**

すべての子どもたちに豊かな放課後を過ごせる場所と機会を提供するとともに、増加する留守家庭の子ども達の居場所を充実させるため、小学校施設を活用した放課後キッズクラブや放課後児童クラブ（学童）の運営を支援します。

**【区配事業】 寄り添い型生活支援事業（こども青少年局）**

養育環境に課題がある世帯の子どもとその保護者を対象に、生活指導による日常生活習慣の改善や、学習支援による学力定着を図るための支援を行います。（北部方面で実施）



2 保育所を拠点とした地域子育て支援事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	328 万円	341 万 5 千円	△13 万 5 千円

乳幼児期の子どもの健やかな成長と子育て中の保護者が抱える不安や悩みの解消のため、市立保育所の子育て支援機能を活用し、地域の親子に仲間づくりや身近な相談ができる環境を提供します。

### 1 おひさま広場（園庭開放）

市立保育所が、子育て中の保護者にとって地域の身近な子育て支援機関となるよう、園庭開放を行います。子育て経験のある保育協力を配置して見守りがある中で、季節の遊びを取り入れながら子どもを安全に遊ばせるとともに、保護者の育児相談などを行います。

- ・おひさま広場：週 5 日（月～金曜日） 市立保育所 4 園

4 園計 270 回実施、参加者延べ 1,638 人（7 月末時点）

- ・おひさままつり：5 月 19 日 みどり保育園 参加 31 組 76 人

5 月 26 日 茅ヶ崎南保育園 参加 30 組 62 人

10 月 20 日 中川西保育園 / 10 月 26 日 大熊保育園



《おひさままつりの様子》

### 2 休日園庭開放

市立保育所の中川西保育園及び茅ヶ崎南保育園において、民生委員・児童委員など地域の協力者の見守りにより、毎月第 3 日曜日に園庭を開放します（8 月・雨天を除く）。

- ・2 園計 8 回実施、参加者延べ 141 人（7 月末時点）

### 3 給食・離乳食体験事業

地域の親子が市立保育所の給食や離乳食を体験する場を設けます。また、市立保育所の保育士や調理員が、食事のとり方や作り方について保護者へ助言します。

- ・4 園計 13 回実施、参加者延べ 55 人（7 月末時点）

### 4 つづきっこ広場～保育園の先生と遊ぼう～

市立保育所を含む認可保育所や認可外保育施設が合同で、保育所の遊びの紹介や育児相談などを区内 4 つのエリア（6 箇所）に分けて実施します。

- |                   |        |            |
|-------------------|--------|------------|
| ・ Aエリア（東山田、仲町台周辺） | 9月1日   | 東山田地域ケアプラザ |
|                   | 11月10日 | 仲町台地区センター  |
| ・ Bエリア（中川・北山田周辺）  | 11月2日  | 滝ヶ谷公園      |
| ・ Cエリア（茅ヶ崎周辺）     | 10月27日 | 茅ヶ崎中央公園    |
| ・ Dエリア（池辺町、川和町周辺） | 9月14日  | 都田地域ケアプラザ  |
|                   | 10月18日 | みどり保育園園庭   |

## 5 積木交流（つみきのつづき）

都筑区では、「つみきのつづき」をキャッチフレーズとして、市立保育所に合計2万個の積木を用意して積木遊びに力を入れています。地域の親子が参加できる積木を使った育児講座の開催などを通して、子どもたちに豊かな体験を提供します。

- ・ つみきであそぼう～合同育児講座～：12月16日 区民ホール

**【区配事業】** 保育所・幼稚園・認定こども園子育てひろば事業（こども青少年局）  
施設の地域開放、子育て相談、育児講座、園児との交流保育等を実施します。

**【区配事業】** 保育資源ネットワーク構築事業(こども青少年局)

認可外保育施設や地域子育て支援拠点を含む保育・教育施設間のネットワークを構築し、保育士向けの実践研修や公開保育の協働実施、各施設との情報交換・ノウハウ等の共有を行うことにより、保育の質の向上と地域子育て支援の充実を図ります。

3 つづき健康づくりサポート事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	270 万 5 千円	219 万 3 千円	51 万 2 千円

区民の皆様の自主的な健康づくりを支援するため、保健活動推進員、食生活等改善推進員等との協働により生活習慣病やがんの予防、食育の推進を中心とした健康啓発を行います。

### 1 生活習慣病・がん予防啓発事業

生活習慣病やがんについて、さまざまな機会をとらえ、チラシやリーフレットを活用した啓発を行うとともに、乳がん啓発月間に併せてピンクリボンキャンペーンを実施します。また、働き世代の健康づくりを進めるため、区内の企業と連携して従業員の健康課題を把握しながら、横浜健康経営認証の取得等、健康づくりの取組を支援します。

- ・ 3歳児健診保護者に対する乳がん検診普及啓発  
： 8回実施、乳がん自己触診体験者数 167 人（7月末時点）
- ・ ピンクリボンキャンペーン：10月1日 港北 TOKYU S.C（協力/会場）
- ・ 乳がんに関する講座（医師会との共催）：10月1日 かけはし都筑

### 2 食育推進事業

15歳未満の人口割合が高い区の特徴に応じ、子どもたちが将来にわたり健全な食生活を送ることができるよう小中学校・保育園等と連携し、情報交換会やイベントを実施します。

また、子育て支援施設等での食事相談に併せて、養育者の関心が高い乳幼児期のむし歯予防や歯磨きに関する歯科相談を実施します。

- ・ 食育・健康フェア：6月24日 来場者延べ 2,124 人  
\*併催：パネル展 6月22日～6月28日
- ・ 第1回食育情報交換会：7月21日 参加人数 38 人
- ・ 子育て支援者会場等における相談  
：食事相談 8回実施、78 組・歯科相談 2回実施、7 組（7月末時点）
- ・ はじめての離乳食：3回実施、参加組数 37 組（7月末時点）



《食育・健康フェアの様子》

### 3 地域の健康づくり応援事業

連携・協力を促し地域の健康づくり活動の充実を図るため、保健活動推進員や食生活等改善推進員の活動支援や各推進員の合同の研修会を行いました。

- ・ 合同研修会：8月8日 参加人数 39 人



《合同研修会の様子》

#### 4 健康づくりネットワーク事業

生涯にわたる健康づくりを推進するため、保健活動推進員や食生活等改善推進員、医師会・歯科医師会、地域ケアプラザ等の関係機関・団体と情報交換・意見交換を行います。

・第1回健康づくりネットワーク連絡会：9月5日

#### 5 こどものお口の健康事業

歯みがきに対する不安が大きい1歳児と養育者に対して、歯みがきの方法やむし歯予防の知識や手法を伝えるための教室を毎月区役所で実施するとともに、地域会場でも開催します。

また、乳幼児時期から学齢期における口腔機能の発達について、保育園、幼稚園、小中学校関係者に研修会を開催します。

・1歳児の歯みがき教室：4回実施、参加組数22組（7月末時点）

・口腔機能発達に関する講演会：11月



《1歳児の歯みがき教室の様子》

#### 【区配事業】がん検診啓発事業（健康福祉局）

がんを早期発見し、適切な治療につなげることでがんによる死亡の減少を目指すため、パネル展等を実施します。



4 食と暮らしの安全推進事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	90万6千円	78万8千円	11万8千円

食の安全、暮らしの衛生、動物の適正飼育を推進する取組を実施します。

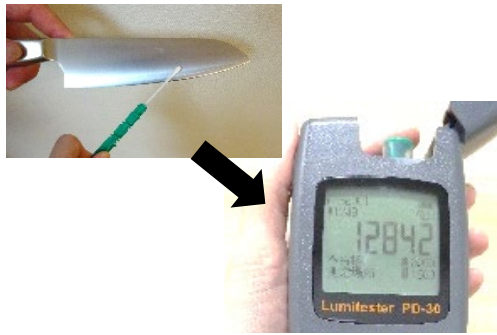
### 1 食の安全確保事業

#### (1) 大規模商業施設や大量調理施設への監視指導の実施

都筑区には大規模商業施設内の飲食店や大量調理施設が多く、食中毒が発生した時に被害が大きくなるリスクがあります。定期的な監視にあわせて、調理器具等の洗浄度を数値化できる機器を用いながら助言を行い、自主衛生管理の推進を促します。

・ 洗浄度を数値化できる機器を併用した衛生指導：5月～3月

給食施設等 20 施設



《洗浄度を数値化できる機器》



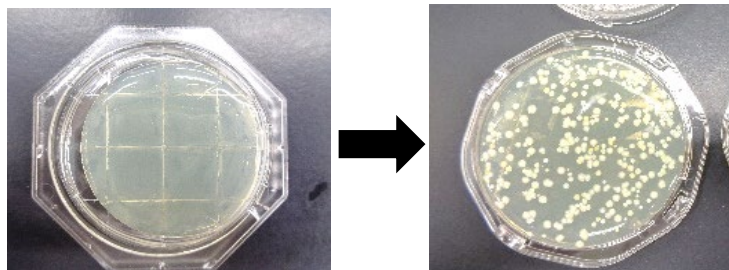
《監視指導の様子》

#### (2) 地域活動の担い手等への検査機器を用いた食品衛生に関する啓発

高齢者の見守りを目的とした配食サービスやこども食堂などのボランティアで食事を提供する団体に対し、衛生教育のためのツール（簡易的な微生物検査ができる <sup>ばいじ</sup> 培地）を用いて微生物を可視化することにより、分かりやすい啓発を実施します。

・ ボランティアで食事を提供する団体への啓発：7月～周知開始、

講習会 10月6日



《微生物を可視化して衛生教育を行うための簡易培地》



## 2 暮らしの衛生確保事業

### (1) 猫等による被害防止に対する支援

区民生活における猫・ねずみ・ハチの被害に対する支援として、被害防止器具の貸出しなどを実施します。

- ・猫侵入防止器貸出：6件
- ・ねずみ捕獲機の貸出：3件
- ・ハチの巣駆除機器の貸出：5件

### (2) 区民が利用する施設の衛生確保

CO<sub>2</sub>濃度測定器を用いて、理美容所等の換気状態を数値化することにより、わかりやすい衛生管理の指導を行います。

## 3 動物適正飼育推進事業

動物愛護週間に長寿ペット表彰、飼い主セミナー等を実施するとともに、区民まつり等において、ペットの飼育マナー及び適正な飼育などに関する啓発を実施します。

動物愛護週間：9月20日～26日

- ・区民ホールにて、ペット防災用品等や長寿ペット表彰パネル展示：9月20日～26日
- ・飼い主セミナーの開催：9月25日



《長寿ペット表彰パネル展示》

### 【局事業】食品衛生監視指導事業・食の安全強化対策事業（医療局）

食品関係施設への立入検査や食品などの検査により食中毒や違反食品の流通を防止するとともに、食品の適正表示を推進して食の安全・安心を確保します。

- ・肉を原因とする食中毒対策 ・社会福祉施設等の食品衛生対策
- ・アニサキスをはじめとする魚介類による危害発生防止対策
- ・検査による違反食品等の排除（残留農薬、アレルギー、食品添加物等）

5 自治会町内会の地域運営応援事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">拡充</span>	R5 予算額	R4 予算額	増△減
		917 万円	673 万 6 千円

自治会町内会を中心とした地域運営の総合力を高めるため、自治会町内会への加入促進や情報提供のほか、自治会町内会等に専門家を派遣し、個別又は集合型のコンサルティングを行う等の各種支援を行うことで、地域運営を応援します。

### 1 自治会町内会加入促進

地域のつながりづくりのため、自治会町内会への加入促進を連合町内会自治会等と連携しながら行います。

#### 【取組】

- ・未設立・新築マンションへの働きかけ
- ・転入手続時の自治会町内会活動紹介冊子の配布
- ・区内各駅や施設等での自治会町内会活動紹介冊子の配架
- ・宅建協会横浜北支部と連携した自治会町内会活動紹介冊子の配布
- ・加入促進動画の放映、パネル展の実施
- ・連合町内会等と連携した未加入世帯への働きかけ・加入取次
- ・自治会町内会活動紹介冊子の改訂版の発行

### 2 専門アドバイザー伴走型 新しい地域運営スタイル推進事業

自治会町内会の新しい地域運営スタイルを推進するため、自治会町内会等を対象に、IT 活用や魅力アップ、加入促進等地域が求めるテーマについて、個別に専門家を派遣します。

また、新たに、自治会町内会に共通する課題をテーマに、複数地区が学び合う集合型のコンサルティングを行うとともに、事業の進捗状況等を全自治会町内会へ効果的に情報発信します。

これらを通じ、専門家によるアドバイスや事例紹介、互いの事例共有、地域の活動団体との連携をすることで、もっと楽しく、クリエイティブにしながら魅力アップや課題解決をしていく自治会町内会の活動スタイルを「都筑スタイル」として進めていきます。

#### 【取組】

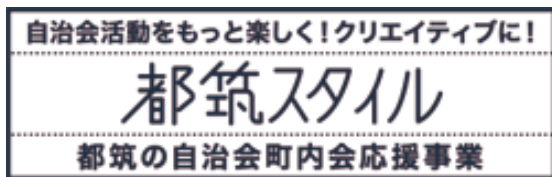
- ・都筑スタイル キックオフセミナーの開催：6月24日（参加者数81人）
- ・アドバイザー派遣の実施：6月～2月（定員4地区中3地区申込受付、うち3地区事前ヒアリング実施済み、1地区第1回派遣実施）
- ・集合コンサルティングの実施：10月～12月（7月21日募集開始、先着20人程度）
- ・イベント・事業実施サポートの実施：6月～2月（定員3地区中2地区申込受付）
- ・ニュースレターの発行（第1号5,000部、7月）
- ・発表会の開催：3月



《都筑スタイル キックオフセミナーの様子》



《都筑スタイル 全体イメージ図》



《都筑スタイル ニュースレター第1号》

### 3 自治会町内会への情報提供

都筑区連合町内会自治会（以降、「区連会」）定例会資料を、8月と12月を除く毎月、各自治会町内会あてに配送し、区連会ホームページに掲載します。

### 4 NPO 法人情報誌の発行

地域資源の見える化として、自治会町内会等へ向け、地域運営を担う団体の一つであるNPO法人の活動や地域とのつながり等を紹介する情報誌「tsuzuki ANCHOR」を発行し、地域の活動主体同士の連携を促します。（年3回発行）

・第7号発行、SNS発信（5,500部、7月）



### 5 自治会町内会長感謝会

自治会町内会長感謝会を開催し、永年にわたり尽力された会長に対し、感謝状を贈呈するとともに各自治会町内会長に対し、感謝の意を表します。

#### 【区配事業】地域の担い手応援事業（市民局）

地域活動の担い手づくりを支援するため、協働の「地域づくり大学校」事業を実施し、地域人材の発掘・育成に取り組みます。

#### 【区配事業】自治会町内会館整備費補助事業（市民局）

地域活動の拠点となる自治会町内会館の整備を促進し、身近な活動の場の充実を図るため、会館整備に対する補助を行います。補助メニューは、新築・増築・耐震補強工事・修繕で、整備費の2分の1を補助します。

#### 【区配事業】地域活動推進費補助金（市民局）

自治会町内会等が実施する防犯、防災、環境美化など公益性の高い活動やレクリエーション活動などの事業費、総会開催費などの事務費に対して補助を行います。

6 地域活動の活性化事業（区民活動センター・読書活動・青少年のボランティア） <b>拡充</b>	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	388 万 5 千円	380 万 1 千円	8 万 4 千円

区民の自主的な地域活動を支援し、区全体で地域活動のすそ野の拡大や更なる活性化を図るため、区民活動センターやつづきMYプラザと連携して、子どもからシニア層まで幅広い世代を対象とした地域活動支援事業を実施します。

## 1 区民活動センター運営事業

### (1) 活動団体情報のデジタル化と広報の強化

区民の自主的な地域活動を支援し、地域活動に関心を持つ人が必要な情報を得やすい環境をつくるため、活動団体や地域資源に関する情報をスマートフォン等で簡単に取得できる仕組みづくりや SNS による情報発信の強化を行います。

・市民局、デジタル総括本部、青葉区と連携し、デジタル化に向けた実証実験を実施（1月～3月）

### (2) 講座・イベント・成果報告会の企画・運営

地域活動のきっかけづくりや地域で活動する団体同士のつながりづくりを目的に、年間を通じて様々な講座やイベント、交流会を実施します。実施にあたり、区民利用施設や市民団体及び地域活動に関心を持つ区民と協働で企画運営に取り組むことで、地域と連携した地域活動の促進を図ります。

- ・地域活動のきっかけづくりや情報交換の場「交流サロン」  
（毎月開催、都筑区民活動センター）
- ・地域活動の担い手づくり「大人の部活動」3団体伴走支援（通年）
- ・区民ライターが取材・執筆する WEB マガジン「縁ジン」による情報発信（通年）
- ・地域活動団体のスキルアップ講座「縁ジンミーティング」（7月、1月、区役所会議室）
- ・地域活動の活動発表、交流会「つづき<sup>びと</sup>人交流フェスタ」（2月、区民ホール）



《区民活動センター登録団体の交流イベント「つづき人交流フェスタ」》



## 2 子どものボランティア体験事業

夏休み期間を利用して、中・高校生がボランティア活動を体験し、日ごろ関わる機会が少ない年代や地域の方々と交流し、体験を通じて学ぶ「はあと d e ボランティア～中高生のための夏休みボランティア体験～」及び小学校5・6年生向けの「はあと d e ボランティア プレコース」を実施します。つづきMYプラザや青少年指導員が中心となり、施設や団体と連携して子どもと地域をつなぐことによって、地域で活動する大人にとっても、子どもと関わり新たな気づきの場となることを目指します。

また、同事業の発展形として、中・高校生が1年を通して活動し来夏の体験事業を企画する「STEP UPプログラム」(局予算事業)を支援します。

- (1) オリエンテーション：7月14日、7月21日～24日、全7回、区内地区センター、都田小学校コミュニティハウス、つづきMYプラザ、日々輝学園高等学校
- (2) ボランティア体験：7月26日～8月18日、区内各所
- (3) 修了証授与：8月19日、都筑区役所



《はあと d e ボランティアの様子 (左：オリエンテーション、右：竹林整備)》

## 3 読書活動推進事業

区民の読書活動を推進するために、図書館と連携し、区内の各施設で読書をテーマにした、おはなし会、講演会及び展示会などを実施します。

- (1) おでかけ図書館：保育所、地区センター及び商業施設などに出向いて、絵本のおはなし会や展示広場などを行う読書活動 (通年)
- (2) つづきブックフェスタ：市民団体と協働で実施する講演会、実演会及び展示会などの読書イベント (11月、区民ホール、区役所会議室)
- (3) 読書懇談会：自治会町内会、市民団体及び学校などの関係者で行う読書活動推進に関する懇談会 (3月)



《おでかけ図書館》



《つづきブックフェスタ》

**【局事業】 地域支援のデジタル化事業**

デジタル技術を活用した地域支援の仕組みづくりとして、自治会町内会やNPO法人などの情報の見える化に取り組み、地域活動への参加促進、団体同士の連携強化を図ります。

**【区配・局事業】 青少年の地域活動拠点づくり事業（こども青少年局）**

中・高校生世代を中心とした青少年が安心して気軽に集い、仲間や異世代との交流、社会参加プログラム等の体験活動を行う「青少年の地域活動拠点」を実施し、青少年の社会参画に向かう力を育みます。

**【区配事業】 横浜市民の読書活動推進事業（教育委員会事務局）**

区の活動目標に基づき、地域全体で読書活動を推進するため市民への普及啓発等の事業に取り組みます。

7 都筑区地域福祉保健計画 「つづき あい」推進事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	203万3千円	356万1千円	△152万8千円

令和2年度に策定した第4期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」に基づき、福祉保健の取組への住民参加を促進し、地域活動団体や社会福祉施設等と行政が協働して、地域づくり、支えあいの仕組みづくりを進めます。

### 1 地区別計画推進会議等の開催支援

- (1) 第4期計画推進に向けて、地域住民による課題共有・解決の体制を促進するため、地区別計画推進会議等の開催を支援します。また、会議への参加を通じて把握した地域課題について、区職員に加えて区社会福祉協議会や区内地域ケアプラザも参加する会議等の場を活用して検討し、課題解決に向けて取り組みます。

地区別計画推進会議・地域懇談会開催地区数：6地区



《地区別計画推進会議・地域懇談会》



《地域の子ども向けクリスマス会》

- (2) 地域での取組に対して、「つづき あい基金」を通じて支援を行います。

申請受付期間 前期：6月1日～7月21日、後期：10月10日～11月24日

### 2 地域福祉保健計画推進体制強化事業

- (1) 身近な地域の福祉保健にかかわる取組を広く区民に知っていただき、参加するきっかけとなるよう、広報よこはま等を活用して啓発を進めます。

広報よこはま掲載：12月号

- (2) 第4期計画推進にあたり、庁内及び関係機関の連携強化を図りつつ地域支援を行えるよう、地域支援に関わる区や関係機関の職員を対象とした研修を実施します。

研修開催時期：10～11月

### 3 都筑区地域福祉保健計画推進委員会等の運営

学識経験者や各種団体の代表者等からなる都筑区地域福祉保健計画推進委員会を開催し、計画の推進状況、地域の取組、今後の取組課題等について意見交換を行います。

推進委員会開催：12月25日

### 4 「つづき あいフォーラム」の開催

地域の活動事例の発表等を通して、区民に身近な地域の取組を知っていただき、また担い手の方々が活動のヒントを得たり、新たな課題に気づく機会となるよう、「つづき あいフォーラム」を開催します。

フォーラム開催：2月17日（災害時要援護者支援をテーマに実施予定）

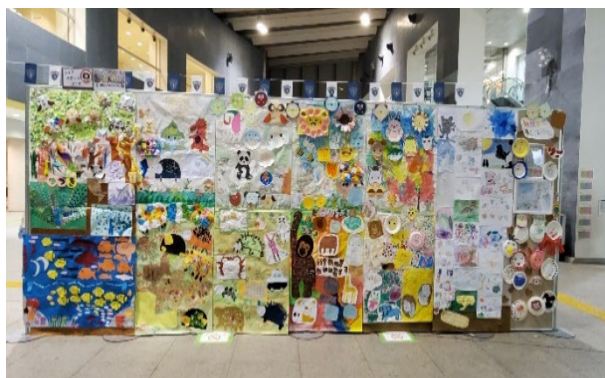


8 障害者交流啓発事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	107万7千円	110万2千円	△2万5千円

障害があっても住み慣れた地域で生活していけるよう、障害者と地域住民との交流や障害者の社会参加を支援する各種事業を実施します。

### 1 福祉農園事業

障害者と地域の交流を行い、つながりを作る啓発事業を行います。障害児・者による芋の収穫体験を実施します。(10月)「～福祉農園～障害者と地域の共生フェスタ」では、区民ホールにて障害者施設の事業所紹介のパネル展、地域の方達の作品を募集して一つの作品にした自撮りコーナー展、障害のあるお子さんとそのご家族の写真展などを行います。(12月)



### 2 障害者地域啓発事業

#### (1) 区民まつり福祉バザー (11月)

地域住民が参加する区民まつりにおいて、障害者団体が出店し、障害者と地域住民の交流の機会とします。

#### (2) 障害者グループホームの地域防災拠点防災訓練への参加支援 (9月～2月)

障害者が地域防災拠点の防災訓練に参加し、地域住民とお互いに顔の見える関係を築くとともに、障害者自身が拠点の役割や機能を理解していただく機会とします。

### 3 障害者施設支援事業

障害者の社会参加につなげるため、区民ホール、駅構内等において障害者施設の自主製品の販売活動を支援しています。



《つづき区民まつり障害者団体自主製品販売》



《川和町駅での自主製品販売の様子》

9 まちづくり総合調整事業 <b>拡充</b>	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	661 万 3 千円	284 万 5 千円	376 万 8 千円

まちづくりに関する区民の皆様の声を聴き、地域の課題解決等を図るための検討や取組を進めるとともに、関係行政機関や区内企業・教育機関等との連携を進めます。

また、地域の実情に応じたきめ細やかなまちづくりの普及・啓発を進め、区民主体のまちづくりを支援します。

## 1 企画調整・情報収集提供

### (1) 区民意識調査の実施

区民の日常生活に関する意識や行動を把握し、今後の施策の基礎資料とするため、区民意識調査を実施します。(前回実施：令和元年度)(調査期間：5月24日～6月20日、集計速報公表：9月下旬)

### (2) まちづくり調整

あゆみが丘市有地の利活用や南部地域における市営バスの実証実験を、地域や事業を所管する局等と連携しながら進めます。また、区域内における建築協定の更新やまちづくり活動団体への支援などに取り組みます。(建築協定の更新：1件)

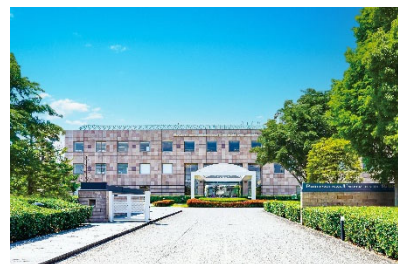
### (3) 区内大学との連携

東京都市大学については、地域課題に関する意見交換会(地域連携協力会議)(5月24日)、学生による地域についての研究発表会(地域連携調査研究発表会)(2月)等を行います。

令和5年4月に開校したビューティー&ウェルネス専門職大学については、今後の連携に向けた検討を行います。



《地域連携協力会議の様子》



《ビューティー&ウェルネス専門職大学》

### (4) 区内企業との連携

区内企業による公立小・中学校出前講座(つづき博士倶楽部)を行います。



## 2 区民文化センター関連事業

6年度開館予定の都筑区民文化センターの整備（本年5月着工済）とともに、隣接する鉄道高架下用地の利活用を所管局等と連携しながら進めます。

また、整備の進捗状況をお知らせするとともに、開館に向けた機運を醸成するため、区民文化センターニュースを発行（7月21日）するほか、区民ホールにて整備状況等を紹介するパネルの展示を行いました。（8月21日～28日）

なお、区民文化センターの愛称をネーミングライツにより「ボッシュ ホール（英語名：Bosch Hall）」に決定しました。（ボッシュ株式会社との契約締結日：6月29日）



《ネーミングライツ契約締結セレモニーの様子》



《区民文化センターパネル展の様子》

都筑区民文化センターの整備を進めています

### 都筑区 区民文化センターニュース 第9号

発行：令和5年7月21日

本市では、区の文化活動拠点となる都筑区民文化センターの整備を進めています。今回は、ネーミングライツ(命名権)契約の締結や縦横デザインの決定等をお知らせします。

#### 1 整備の進捗状況

区民文化センターについては、本格的に工事開始されました。令和6年度中の開館を目指し、積極に工事が進められています。

■ 整備スケジュール ■

- 令和4年1月 工事着手
- 令和6年9月 工事しん工(予定)
- 令和6年度中 開館(予定)

建設現場写真(左側) 2023年6月18日

#### 2 ネーミングライツ(命名権)契約の締結について

令和5年6月29日にボッシュ株式会社とネーミングライツ契約を締結し、愛称は「ボッシュ ホール」(英語名:Bosch Hall)に決定しました。横浜市の区民文化センターへのネーミングライツ導入は初の試みで、スポンサー料は区民文化センターの施設管理費や区民文化センターを中心とした文化振興・賑わい創出等に活用していきます。

【契約内容の概要】

- ◆契約の相手方：
  - (名 称) ボッシュ株式会社
  - (本 社) 東京都渋谷区渋谷3-6-7
  - (代 表 者) 代表取締役社長 クラウス・メーダー
  - (主要事業) 自動車機器の開発、製造、販売、サービス
- ◆愛称：ボッシュ ホール (英語名:Bosch Hall)
- ◆契約金額：年間1,100万円(税込)
- ◆契約期間：10年3か月(令和7年1月～令和17年3月)
- ◆地域貢献等への提案
  - ①都筑区民文化センターを含む施設の発信力の強化
    - センター近所から見た施設完成イメージ
    - 全天候型広場・ボッシュ本社ビルとの連携による各種イベントの企画・実施・認知の向上
  - ②都筑区民文化センター・ボッシュ株式会社関連施設の有機的な連携による賑わいづくり
  - 市民活動・地域イベント開催時の会場として、全天候型広場・ボッシュ本社ビル1階の一部を開放
  - ③文化振興への貢献
    - 文化イベント・プログラムの企画・実施

左:山手村香穂清市長 右:クラウス・メーダー社長

《区民文化センターニュース第9号》

10 危機管理対策推進事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	943万7千円	976万5千円	△32万8千円

大雨や台風による河川の氾濫を想定した水防訓練、地震により負傷者が多数発生したことを想定した災害医療対策訓練などの各種訓練を通じて、関係機関・団体との連携を図ります。

また、区災害対策本部の運営に必要となる資器材の維持管理や、災害時に迅速かつ的確な情報収集・発信をするための運用を整備します。

### 1 関係機関と連携した災害対応力の向上

(1) 「災害対策連絡協議会」や「帰宅困難者対策部会」を開催し、警察署等の関係機関・団体と情報共有や意見交換を行います。

- ・災害対策連絡協議会（5月12日）

(2) 「災害医療連絡会議」や「災害医療体制検討プロジェクト会議」等の場で、区医師会等の関係機関・団体と災害医療に関する情報共有や意見交換を行います。

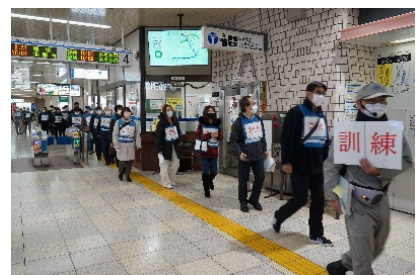
(3) 区独自に設置の防災用スピーカーを一斉に放送する訓練や、区医師会等と実施する災害医療対策訓練及び交通事業者や帰宅困難者一時滞在施設等と実施する帰宅困難者対策訓練を通じて、関係機関・団体との連携強化を図ります。

- ・水防訓練（7月15日、18日）
- ・「診療中」の黄旗掲出訓練（9月、1月、3月）
- ・仮設救護所運営訓練（1月～2月）

(4) 区災害対策本部の運営のため、通信機能の確保や資器材の補充を行います。また、区災害対策本部訓練を実施することで、区職員の災害対応能力の向上を図ります。



《水防訓練におけるマイク操作訓練》



《帰宅困難者対策訓練》



《黄旗掲出訓練》

### 2 災害時における情報発信

(1) 災害発生時や災害発生が見込まれる際、緊急時情報伝達システムを活用し、区内の自治会・町内会長等へ避難情報等を一斉に電話で知らせるシステムを引き続き運用します。

- ・緊急時情報伝達システム受伝達訓練（6月9日）

(2) Jアラートについて、総務省消防庁では住民の迅速かつ確実な避難を図るため、Jアラートと連携する情報伝達手段の多重化を推進しています。都筑区では、区独自に河川沿いに設置した防災用スピーカーからJアラートが放送できる機能を追加します。



《防災用スピーカー》

11 災害にそなえる自助・共助の推進事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	453 万 9 千円	489 万 6 千円	△35 万 7 千円

地域防災拠点運営委員向けの研修会及び防災・減災講演会等を開催するとともに、「災害時要援護者支援事業（つづき そなえ）」により、地域における支えあいの取組を支援することで、自助・共助の取組を推進し、地域防災力の向上を図ります。

### 1 地域防災拠点の運営支援

地域防災拠点運営委員を対象として、地域防災拠点の開設・運営などに関する研修会（3回）を開催するとともに、地域防災拠点における訓練を支援します。また、女性の視点から安心安全な避難所生活を送るための備品を充実させるため、新たにセンサーライト等を配置します。

- ・都筑区地域防災拠点運営委員会連絡協議会（5月25日）
- ・地域防災拠点運営委員研修会  
第1回 6月25日  
第2回 7月2日
- ・各地域防災拠点にセンサーライト及び防犯ブザー等を配置（7～8月）



《センサーライト》 《防犯ブザー》

### 2 自治会町内会等向け出前講座、防災・減災講演会の開催

自治会町内会・小中学校等を対象とした出前講座や区民向け防災・減災講演会を開催し、大規模地震や風水害への備えなどの知識の向上や防災・減災に関する意識啓発を図ります。

- ・出前講座：3回（自治会町内会等2、その他1）



《出前講座の様子》

### 3 鶴見川水系水害に関する連絡会の開催

区内を流れる鶴見川・大熊川、早淵川の流域にお住まいの地域の方とともに、地域の現状や課題、発災時に備えた取組などについて意見交換等を行い、地域と一体となって水害対策に関する取組を進めます。

### 4 防災マップの多言語化

災害に対する避難行動や事前の備えについて、外国人の方々の知識・理解の促進を図るため、都筑区防災マップの多言語化（英語・中国語・韓国語）を進め、区のホームページに掲載します。

## 5 災害時要援護者支援事業（つづき そなえ事業）

要援護者支援の取組の必要性や進め方に関する講演会を、区民や自治会町内会役員等を対象に開催します。（2月17日 つづき あいフォーラム講演会として実施予定）

各地域の実情に合わせ災害時要援護者支援の取組が進むよう、自治会町内会単位での取組の進め方等の説明会を開催するとともに、連合町内会自治会による取組に対しては、補助金を交付します。

また、行政が保有する災害時要援護者名簿の提供を推進します。

## 6 今すぐ取り組む健康づくり

健康づくりの観点から災害の備えを促すため作成した「食の備蓄」「口腔ケア」「衛生対策」に関する冊子「災害時にも役立つBOOK」を活用し、保健活動推進員や食生活等改善推進員等と連携して啓発を行います。

・啓発：1回実施、参加人数9人（7月末時点）

## 7 災害時のペット対策事業

災害時のペット避難について、飼い主一人ひとりが適した方法を自ら考えられるよう、飼い主向け講演会や「我が家のペット防災展」を実施し、飼い主に対する啓発を進めます。また、地域防災拠点においてペット同行避難を受入れしていただけるよう、ペット避難所開設キット（受付物品等）を配布し、各拠点の取組を支援します。

- ・「我が家のペット防災展」：9月20日～26日
- ・ペット避難所開設キットの配布：24拠点、9月から
- ・ペット防災講演会：9月23日



《ペット避難所開設キット》



《ペット避難所開設キットの内容》

### 【局事業】地域の防災担い手育成事業（総務局）

町の防災組織のメンバーや地域防災拠点運営委員を対象に、防災・減災推進研修等を実施し、地域の防災活動の担い手となる人材を育成します。

さらに、市内唯一の体験型施設である横浜市民防災センターと連携し、広く市民を対象にしたテーマで防災・減災の知識を深める「防センアカデミー」を実施します。

### 【区配事業】地域の防災担い手育成事業（総務局）

地域の実状に合わせた研修プログラムや講演会の実施、啓発事業等により、地域防災の担い手の育成や、町の防災組織を中心とした自助・共助の取組の推進を図ることで、「災害に強い人・地域」づくりを支援します。



12 安全・安心なまちづくり事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	958 万 3 千円	958 万 3 千円	0 万円

交通安全キャンペーン・スクールゾーン協議会支援等交通安全事業及び放置自転車対策事業を実施し、区民の皆様の安全を守ります。さらに、犯罪を未然に防ぎ、区民の皆様の安全で安心な暮らしを実現するため、防犯活動を支援します。

### 1 交通安全運動

都筑区交通安全対策協議会を中心に、都筑警察署等関係機関・団体と連携しながら交通安全運動を実施します。さらに、日々の交通安全運動に貢献された皆様に顕彰します。

また、子どもたちの安全・安心のため、学校や警察と連携し、スクールゾーン標示の整備や交通安全啓発等を実施し、各小学校のスクールゾーン・防犯対策協議会の支援を行います。

- ・交通安全運動：年間11回実施予定
- ・はまっ子交通あんぜん教室：10校（5月～11月）
- ・スクールゾーン・防犯対策協議会の開催  
24校（区内22校＋区外2校）で6月～11月に順次開催予定



### 2 放置自転車対策事業

自転車等放置禁止区域（センター南、センター北、仲町台、都筑ふれあいの丘、北山田、東山田、中川、川和町、鴨居の各駅周辺）において適切な自転車利用を行うよう、監視指導を行う監視員を配置します。10月には駅周辺で啓発チラシ等を配布し、放置自転車防止等呼びかける放置自転車クリーンキャンペーンを行います。

### 3 地域防犯活動推進事業

地域防犯活動を行う自治会町内会及び地域の自主防犯のための青色回転灯パトロール隊に対し助成金を交付するとともに、研修会を行うなど活動を支援します。

- ・防犯研修会：10月15日（日） 都筑警察署4階講堂

#### 【区配事業】自転車マナーアップ事業（道路局）

放置自転車等が多い駅周辺にマナーアップ監視員を配置し、放置自転車等の抑制とマナーアップを図ります。

#### 【区配事業】地域防犯活動支援事業（市民局）

防犯に関する物品などを自治会町内会等に配付することにより、地域での防犯活動を支援します。

#### 【区配事業】子どもの通学路交通安全対策事業（道路局）

子どもの通学路交通安全対策に取り組む事業で、特に交通安全教育の充実、ハンブ（凸部）や狭さくなど物理的デバイスの整備などソフト・ハードの交通安全対策を重点的に実施する交通安全推進校（市内で4校）に都田西小学校が選定されています。



13 広報・広聴事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	172 万 2 千円	235 万 9 千円	△63 万 7 千円

広報よこはまや区ホームページ、SNS を活用し、区政情報や区の魅力・見どころなどを広く発信することで、区民生活の利便性向上や賑わいの創出につなげます。

また、広聴事業により、多様化する区民ニーズや地域の課題を把握し、円滑な区政運営を図ります。

#### 1 インターネット広報

区ホームページや SNS（ツイッター、LINE）を活用し、区政情報や各種イベント情報の発信、オープンデータの提供などを行います。

#### 2 PRボックスの活用

毎月 1 日、全駅の PR ボックス見開き掲示板上に広報紙の最新号を掲示します。

また、毎月 15 日に広報印刷物の補充を行い、イベント・お知らせ等を周知します。



《センター南駅設置の PR ボックス》

#### 3 都筑区ハンドブック発行事業

区役所業務や区内の施設情報などを紹介する都筑区ハンドブックについては、紙媒体の発行を終了し、ホームページにて掲載します。区内転入者向けには冊子の在庫がなくなり次第、ホームページの案内チラシに切り替えて配布します。

#### 4 主要事業の広報

広報よこはま都筑区版や区民ホールでのパネル展示により、区の主要事業の広報を行いました。（5月25日～6月1日）

#### 5 記録兼広報用写真・動画撮影事業

区内の公園や建物等の記録兼広報用写真の撮影を行います。また、新たにドローンでの動画撮影を行いました。（8月21日）

#### 6 広聴事業

各種広聴制度を活用し、区民の方や区内で活動する団体等の方から様々な意見を伺うことで、地域における課題やニーズの把握に努めます。

14 スムーズ区役所事業 <b>拡充</b>	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	1,268 万 1 千円	1,404 万 3 千円	△136 万 2 千円

ICT活用をはじめとする庁舎内の環境整備や、来庁者がスムーズに手続きできるようにすることにより、業務の効率化と区民が利用しやすいスムーズな区役所を実現します。

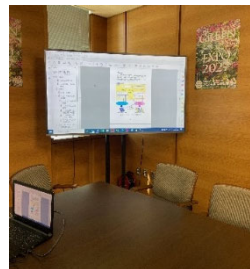
### 1 デジタル環境推進事業

横浜DX戦略に基づきデジタル化を推進するため、庁内のICT環境の整備を図り、区民サービス向上や業務効率化につなげます。

- ・区民の方を交えた会議や講演会等でも使用する6階会議室のインターネット接続用無線LAN環境の整備をしました。(8月)
- ・会議室及び執務室の会議用モニター等の拡充を実施します。(2月)



《WEB 会議の様子》



《会議用モニター》

### 2 区庁舎環境改善

区民の皆様が快適に利用できるよう、区庁舎の環境改善や整備を行います。

### 3 税理士による確定申告受付事業

確定申告の期間中(2月16日～3月15日)のうち10日間、区民の皆様身近な区役所において、専門知識を持つ税理士の協力を得て確定申告(医療費控除の還付申告)に係る申告書の作成支援・受付を行います。

### 4 来庁者サービスアップ事業

来庁者が利用しやすい窓口になるよう、こども家庭支援課に窓口案内員を配置します。(配置時間：8時45分～17時)

また、お子さま連れの来庁者が待ち時間にお子さまと過ごせる場所を提供します。



### 5 人権啓発講演会

人権意識の向上を目的として、区民の皆様及び職員を対象とした人権啓発講演会を、都筑公会堂で実施します(1月)。また、録画したものを編集しオンライン配信します(2～3月)。

## 施策2 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

15 横浜ビー・コルセアーズを活かした ホームタウン活動推進事業 <b>新規</b> <b>拡充</b>	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	320 万円	120 万 9 千円	199 万 1 千円

平成29年3月に横浜ビー・コルセアーズ、都筑区連合町内会自治会、区役所の三者で締結した「ホームタウン活動の協力に関する基本協定」に基づき、区をあげたチームの応援にこれまで注力してきました。

5年度からは、チームとの連携を更に深め、誰もがスポーツに親しむ機会の創出や街の賑わいづくりを図ります。

### 1 ダイバーシティスポーツイベント

小中学生やファミリー層を主な対象とし、地域活動団体や地元企業、横浜ビー・コルセアーズ等プロスポーツと連携しながら、誰もが楽しめる新しいスポーツイベントを創設します。その重点として、障害児や外国につながる子どもやその家族が共に楽しめるプログラム内容を企画することで、スポーツを通じたダイバーシティ&インクルージョンを推進します。

5年度は取組のスタートとして、障害児支援や在住外国人支援で実績のある NPO 法人及びスポーツ推進委員、青少年指導員等で構成する実行委員会を立ち上げました。同体制の下、多文化共生イベントにおけるスポーツ体験の場の提供や、誰もが楽しめる新しいユニバーサルスポーツイベントの企画を行い、6年度からの本格実施につなげます。

### 2 都筑区グラウンドゴルフ大会

横浜ビー・コルセアーズ協賛のもと、グラウンドゴルフ大会を開催し、シニア層へのチームの認知度向上及びプロスポーツチームとの協働による地域の一体感醸成を図りました。

実施日：6月4日 参加者 156 名、来賓 26 名、従事者 67 名



《大会の様子》



### 3 ホームタウン広報

「都筑区応援 Day」の開催や、区庁舎を始めセンター北駅・センター南駅付近や北山田駅での広報など、都筑区全体で横浜ビー・コルセアーズのホームタウン活動を推進する機運を醸成し、街の一体感の創出と地域の活性化を図ります。

チームのB.LEAGUE 2022-2023 シーズンでのチャンピオンシップ進出に伴い、センター南すきっぷ広場でのパブリックビューイングイベントをチームと共に開催しました。

実施日：5月14日



《応援 Day の様子》



《区庁舎装飾》



《パブリックビューイングの様子》

16 文化とスポーツであふれるまちづくり 推進事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	164 万 4 千円	220 万 9 千円	△56 万 5 千円

都筑区を拠点とした文化、スポーツの活動を支援することで、広く区民が文化・スポーツに親しむ機会を提供します。

**1 つづきユースフェスティバル**

従来実施していた「つづきウォーク&フェスタ」をリニューアルし、地域で活動する青少年が主役となり吹奏楽やダンス等の文化活動を区民に向けて披露する「つづきユースフェスティバル」の開催を支援することで、文化活動発表の場の提供による青少年の自己表現機会の創出を図ります。

実施日：11月23日、都筑公会堂

**2 都筑区民文化祭事業**

区民及び区内活動団体が自主的に運営する「都筑区民文化祭」の開催を支援し、区民が広く文化に親しむ機会を創出します。

キャッチフレーズ「笑顔いっぱい つづき かわいくてごめん」

第28回都筑区民文化祭：1月20日～2月4日

- ・オープニングセレモニー：1月20日、都筑公会堂
- ・展示部門：1月20日～2月4日、都筑区民ホール
- ・舞台部門：1月21日・27日・28日、2月3日・4日 都筑公会堂



《オープニングセレモニー》



《舞台部門》



《展示部門》





### 3 都筑スポーツ・文化賞事業

スポーツ・文化の分野においてめざましい活躍、顕著な功績のあった都筑区にゆかりのある方々を表彰し、さらなる活躍を期待するとともに、スポーツ・文化活動への関心を高めます。実施日：1～2月頃

### 4 スポーツ協会活動補助事業

各種スポーツ大会や講習会を開催する都筑区スポーツ協会に対し補助を行い、スポーツ、レクリエーション活動を振興し、区民の健康増進と相互の親睦を図ります。

17 区民の交流促進事業（区民まつり・ドイツクリスマスマーケット）	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	572 万 9 千円	572 万 9 千円	0 万円

区民のふるさと意識の向上や、区民同士の交流を促進するため、次のイベントを開催します。

### 1 都筑区民まつり

区民の皆様にご地域に対する愛着やふるさと意識を醸成していただけるよう、自治会町内会や区内の各種団体などから構成される都筑区ふるさとづくり委員会とともに、「第 29 回 都筑区民まつり」を 11 月 3 日（金・祝） に都筑区総合庁舎及びセンター南駅周辺で開催します。



《第 28 回都筑区民まつり（4 年度）》

### 2 都筑・ドイツ交流イベント事業

在住ドイツ人の多い都筑区で日独の相互理解の促進を目的に、地元商業振興会や自治会町内会、東京横浜独逸学園、ドイツ企業等と連携し、センター北駅前の芝生広場を会場に「ドイツクリスマスマーケット in 都筑 2023」を開催します。（12 月 9 日・10 日）



《ドイツクリスマスマーケット in 都筑 2022》

18 在住外国人支援・国際交流事業 <b>拡充</b>	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	295 万円	193 万 5 千円	101 万 5 千円

国籍や文化的背景などにかかわらず、誰もが安全・安心に暮らすことができるまちづくりを推進するため、「都筑多文化・青少年交流プラザ（つづきMYプラザ）」と連携して、在住外国人に寄り添った日本語学習・生活支援や、国際交流を通じた多文化理解の促進を図ります。外国につながる子どもたちが地域に愛着を持ち、活躍できるよう支援します。

**1 在住外国人支援事業**

多言語による情報提供及び相談対応を実施するとともに、増加する在住外国人を支えるため、ボランティアを育成します。言語の壁が原因で学習に課題を抱える子どもたちに対し、学校と連携した学習支援及び相談の居場所を提供します。また、学習支援対象を高校生まで拡充することで切れ目のない支援を実施します。文化的背景の違いによる課題を解決するため、各種機関及び団体と連携し、多文化共生に関する理解の普及啓発を図ります。

- ・「KANJI クラブ」外国につながる子どものための学習補助事業（週1回程度）
- ・区民が多文化共生について学ぶセミナーの実施（8月11日、48人）
- ・日本語ボランティア連絡会の実施（月1回）、養成講座の実施
- ・DE&I FESTIVAL の開催（10月1日）、プラザまつりの開催（3月10日）

※ DE&I（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）とは、Diversity（多様性）、Equity（公平性）、Inclusion（包括性）の3つを合わせた言葉です。国籍や障害の有無にかかわらず、多様な人が、公平な機会のもと、違いに尊重しあい、力を発揮できる環境を実現するという概念です。



《KANJI クラブの様子》



《KANJI クラブ終了式の様子》

## 2 国際交流事業

「都筑・ボツワナ交流児童画展」が10周年を迎えるにあたり、ボツワナ共和国大使館、在ボツワナ日本国大使館協力のもと、国際局と連携し、「都筑・ボツワナ アニバーサリーイベント」を開催します。横浜市立茅ヶ崎小学校とボツワナ共和国ベン・テマ小学校の貴重な絵画交流の歩みを市民の皆様と分かち合える事業を実施するとともに、児童画を核にした交流の更なる発展と、横浜市とボツワナ共和国の関係強化を図ります。

- ・ 国際理解教室（ボツワナ大使出席）：6月22日、茅ヶ崎小学校、161人
- ・ 茅ヶ崎小学校とベン・テマ小学校を結んだオンライン交流の実施：10月
- ・ 横浜市庁舎アトリウムでのセレモニーの実施及び児童画展の実施：2月
- ・ 児童画交流の歩みや関係者の声をまとめた動画の作成及び活用



《ボツワナ大使と交流する様子》



《国際理解教室の様子》

### 【区配事業】外国人材受入・共生推進事業（国際局）

地域の外国人支援及び国際交流の拠点として、多言語での情報提供や相談対応、日本語教室、日本人と外国人の交流事業などを実施する国際交流ラウンジを運営します。



19 メイドインつづき推進事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	364 万円	579 万 6 千円	△215 万 6 千円

都筑区の製造業の持つ高度なものづくり技術や独創的な製品、区内でとれた新鮮な都筑野菜などの「メイドインつづき」をPRすることにより、販路開拓や地産地消につながる支援を実施します。

## 1 中小製造業支援

### (1) 販路開拓・企業間連携支援

県下最大級の工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ 2024」に「メイドインつづき」ブースを出展し、参加企業の技術・製品をPRするとともに、企業連携により製作したユニークな製品の数々を展示します。

また、販路開拓や人材確保等の観点から、参加企業の販促・広報用ツールを作成し、展示会や各種催事で活用します。

### (2) 参加企業と連携したPR活動

子どもたちがものづくりを体験できるワークショップを開催するほか、参加企業による地域貢献活動の取組を広く発信することで、住環境と操業環境が調和した住工共生のまちづくりを推進します。

また、5年度は新たに金沢区及び金沢区立地企業と連携したイベントを市庁舎アトリウムで実施し、「メイドインつづき」の更なる認知度向上を図ります。(8月1日開催・参加者数：延べ1,500人)



《イベントの様子①》



《イベントの様子②》

## 2 地産地消の推進

「行こう」、「作ろう」、「食べよう」などといった様々な切り口から都筑野菜の楽しみ方や魅力をPRし、地産地消の推進に取り組みます。

5年度は、朝市(概ね月4回)、都筑野菜グルメスタンプラリー、区内公立小学校への地産地消に係る出張授業などに引き続き取り組むほか、新たに区内商業施設と連携した地産地消PRイベントを開催します。(11月)



《朝市の様子》



**【区配事業】ものづくり魅力発信事業（経済局）**

中小製造業の販路開拓とものづくりの魅力発信を推進するため、テクニカルショウヨコハマにおけるメイドインつづきのPRや区の垣根を越えた企業間連携などを支援します。

**【区配事業】身近に農を感じる地産地消の推進事業（環境創造局）**

農産物直売所の整備等を支援するとともに、市内で生産される苗木や花苗の配布、地産地消に関わる情報の発信など、地産地消を身近に感じる取組を推進します。

20 商店街の魅力発信事業 <b>拡充</b>	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	84 万円	50 万円	34 万円

各商店街の特性や強みを活かした取組支援と魅力発信を通じて、地域間の交流や活性化を促し、街全体の賑わい創出を図ります。

### 1 商店街の魅力発信事業

都筑区商店街連合会の皆様とともに区内商店街の効果的な魅力発信方法について検討しながら事業を進めます。

具体的には、SNS の活用、プロスポーツチームとの連携等の取組により、広報をさらに充実していきます。

また、広報よこはまで「つづきたい」ちゃん（都筑区商店街連合会公式キャラクター）を PR するほか、商店街主催のイベント等で一緒に盛り上げていきます。

- ・商店街連合会、広告代理店との魅力発信方法の検討（9月）



《星空のコンサートでの「つづきたい」ちゃん》

## 施策3 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

21 環境にやさしいまち推進事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
		98 万 4 千円	136 万 9 千円

地球温暖化を始めとする環境問題への対策について区民へのPRを進めるとともに、地球環境に優しい生活の普及啓発を推進します。

また、きれいな街づくりのため、地域清掃活動の支援、不法投棄防止対応、ヨコハマ3R夢プラン普及啓発などの取組を積極的に進めます。

### 1 エコ活の推進

親子向け体験型ワークショップ、食品ロス・プラスチック問題の解決に向けたきっかけづくり、家庭で取り組む3R（発生抑制、再使用、再生利用）行動の紹介等を通して、環境に優しい生活を啓発するイベントを開催します。（3月）

また、区庁舎に設置されている、窓際でつる性の植物をカーテンのように育て日光を遮る緑のカーテンの維持管理を行うとともに、区内公立小中学校を対象に緑のカーテンの設置支援を行います。（9校）

### 2 クリーン・ヨコハマ3R夢推進事業

#### (1) クリーン推進事業

きれいな街を推進するため、自治会町内会等が実施する地域清掃の支援、駅周辺のポイ捨て防止啓発、農業専用地区等の不法投棄防止対策の支援を行います。

- ・清掃ごみ袋配付による地域清掃の支援：38団体（7月末時点）
- ・センター南駅前ポイ捨て防止キャンペーン：11月
- ・農業専用地区一斉清掃：池辺、折本、新羽大熊、佐江戸宮原（～2月）

#### (2) ヨコハマ3R夢推進事業

3R行動推進のため、つづき3R夢週間をはじめとする各種イベントや赤ちゃん会など様々な機会を活用した区民等への啓発、「都筑区の子どもの読書活動支援」を目的とした市民団体との協働により、区民の皆様から読まなくなった本を回収し、区内小学校へ配付します。

また、フードドライブの推進など食品ロス削減につながる取組を資源循環局等と連携し進めていきます。

- ・つづき3R夢週間パネル展・イベント：7月12日～7月19日、2月29日～3月6日  
（7月15日 区民ホールでイベント実施：啓発物品配布120人）
- ・赤ちゃん会での3R夢啓発：9月～3月（18会場）
- ・リユース図書の配付：11月（区内小学校等）
- ・フードドライブ活動：一般のご家庭から提供いただいた食品を区社協を通して地域の福祉施設や食の支援を必要としている方へ381点提供（7月末時点）



《つづき 3 R 夢週間パネル展・イベントの様子》

### 3 都筑区地球温暖化対策・3 R 夢推進会議

街の美化や3 R 夢普及啓発の取組が顕著だった団体・個人を表彰しました。また、温暖化対策・3 R 夢に関する会議については、横浜市の「ヨコハマ3 R 夢」推進会議の中止に伴い、書面開催としました。

・表彰式（5団体、9個人）：5月29日



《表彰式の様子》

【区配事業】公共施設・公有地での緑の創出・育成事業、保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成事業（環境創造局）

横浜みどりアップ計画の一環として公共施設・公有地等において、敷地内の緑化及び緑地の維持管理を支援します。



22 みんなで花と緑のまちづくり事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">拡充</span>	R5 予算額	R4 予算額	増△減
		370 万 1 千円	444 万 7 千円

緑地や農地の多い都筑区において、より一層、花と緑にあふれるまちを目指し、区内の地域資源である公園や緑道などを維持管理するボランティア団体・個人の活動支援に取り組みます。

また、花や緑、身近な自然に親しむ機会を広げる取組や、魅力ある豊かな環境資源の発信などを進めながら、併せて2027年国際園芸博覧会の開催意義やテーマを様々な機会を通じて広報し、機運醸成に取り組みます。

### 1 都筑区花いっぱい運動の推進

都筑の四季折々の写真を対象としたフォトコンテストを開催しました（応募 263 点）。また、入賞作品を素材とした2024年カレンダーを制作し、区民等に配布します。（1月）



### 2 「<sup>はやぶちがわ</sup>早淵川・<sup>ろうばやと</sup>老馬谷ガーデン（HRG）」の維持・管理

地域及び東京都市大学と連携し、早淵川沿いの緑の拠点であるHRGの維持・管理に引き続き取り組みます。



《地域と大学生による手入れ》

### 3 「都筑区水と緑の散策マップ」の活用

「都筑区水と緑の散策マップ」を活用し、都筑区の環境資源の魅力を市民に発信します。

また、地図の時点更新や使いやすさ向上のため、改訂に向けた版下作成を行います。



### 4 みどりとみちのパートナーの推進

身近な道路や公園等を清掃、維持管理するボランティア団体（ハマロード・サポーター、公園愛護会、水辺愛護会）や個人に対して花苗や清掃用具等を提供します。

また、パネル展（7月）等での活動紹介や担い手を増やすための広報を行い、活動の活性化を図ります。

団体数：203 団体（ハマロード・サポーター48 団体、公園愛護会 152 団体、水辺愛護会 3 団体）（8月現在）



《パネル展》



《江川せせらぎ緑道のサンパチェンス》



《ハマロード・サポーター》

【区配事業】国際園芸博覧会推進事業（都市整備局）

2027年国際園芸博覧会に向け、市内の認知度向上・機運醸成に向けた取組を全市で実施します。都筑区でも、局と協力して、開催意義やテーマを様々な機会を通じて広報します。

【区配事業】ガーデンシティ事業（環境創造局）

市民、企業、団体など様々な主体と連携し、全市を挙げて「ガーデンネックレス横浜」を実施し、全市・地域で花と緑による街の魅力創出を進めます。都筑区では、「つづき みどりと花の名所25選」を巡るウォーキングなどを引き続き行います。

【区配事業】市民が森に関わるきっかけづくり事業 森の楽しみづくり（環境創造局）

森に関わる市民の裾野を広げることを目的として、自然の中で遊びながら生態系や自然の大切さを学ぶネイチャーゲームを市民の森で開催します。

【区配事業】ハマロード・サポーター事業（道路局）

自治会町内会、企業等のハマロード・サポーター各団体による市道の清掃、美化活動を支援するため、清掃用具の提供等により活動を支援します。

【区配事業】公園愛護会活動等支援事業（環境創造局）

公園の清掃等の日常管理や花壇づくり、利用者のマナー啓発等を行う、地域住民で組織する公園愛護会活動を支援するため、活動面積に応じた報償費等により活動を支援します。

国際園芸博覧会機運醸成への取組

■区独自の取組として、区庁舎における周知等を積極的に展開中



《ポスター掲示（区民ホール）》



《ポスター掲示（EV内）》



《パネル展示》



《広報よこはま都筑区版掲載》

■区配事業で今後実施予定

- ・啓発グッズ（缶バッジ、小松菜の種）の配布
- ・駅前広場におけるラッピング広告
- ・内照式のサイン製品（1800mm×800mm）を区庁舎に常設展示等を計画中



《内照式サイン

※デザイン検討中》

## 令和6年度 都筑区個性ある区づくり推進費 予算編成の考え方について（案）

令和6年度個性ある区づくり推進費自主企画事業費の予算編成に当たり、次の考え方に基づいて取り組んでいきます。

○都筑区は、令和4年12月に策定された横浜市中期計画で定める「子育てしたいまち 次世代を共に育むまちヨコハマ」及び「住みたいまち」・「住み続けたいまち」の実現や、地球規模の課題である脱炭素社会の推進（その発信の場としても重要な「2027年国際園芸博覧会」の機運醸成を含む）に向け、取り組んでまいります。

○特に、令和6年度は、11月に区制施行30周年を迎え、令和7年3月には都筑区民文化センターの開所を予定しており、区の現状・特徴などを踏まえ、総合的に取り組みます。

○区の予算は、福祉・子育て関係、地域・まちづくり関係などを中心に、各事業所管局から区に目的別に配付された予算もあり、区職員が高い効果が得られるように工夫して執行しているものが多くあります。これらの事業も踏まえながら、個性ある区づくり推進費自主企画事業費と連携することで全体最適を目指します。

○限られた資源の中で多様化・複雑化する課題に対応し、市民の満足度を高めていくために、多様な主体との協働・共創に取り組みます。また、様々な機会を通じて現場に出向き、地域の実情、課題、思いを共有し、地域・団体・企業の皆様に寄り添って一緒に考えることで、パートナーとしてそれぞれの役割を發揮できるような事業計画を策定します。

○すべての取組の元となる安全・安心なまちづくりに取り組みます。そして、「WELL-BEING（ウェル・ビーイング）＝幸福で肉体的、精神的、社会的全てにおいて満たされた状態のこと」及び「Nature based Solution（ネイチャー・ベースド・ソリューション）＝自然が有する機能を持続可能に利用し、多様な社会的課題の解決につなげる考え方」それぞれにおいて、関連する取組を横断的に連携させ、事業効果を高めます。

これらの取組により、「「つながり」「活力と魅力」「安心」を実感できるまち、ふるさと都筑」を実現していきます。

（裏面あり）

### 【基本姿勢】（施策の柱）

都筑区運営方針で掲げた「3つの施策」を基本姿勢とし、令和6年度予算編成を進めます。

また、令和6年11月に都筑区は区制30周年を迎えます。この節目を活かし、区民の皆様さらに都筑を好きになっていただく機会をつくることで、「住み続けたいまち」の実現を目指します。

### ア 子育て世代をはじめ、あらゆる世代が住み続けたいと思えるまち

誰もが安心して子育てできるよう、妊娠・出産期から学齢期まで切れ目のない子育て支援に取り組みます。また、互いに支え合える地域づくりを多様な主体と協働して進めていくため、地域支援の取組を充実させます。さらに、自治会町内会等の地域活動の活性化、地域防災力向上、デジタル技術による情報発信力の強化を図ります。

【キーワード】WELL-BEING(ウェル・ビーイング)、「都筑愛」のさらなる醸成

【主な取組分野】子育て支援、協働による地域づくり、防災、防犯・交通安全、デジタル化

### イ 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

まちの魅力を存分に活かしてにぎわいを創出し、活気あふれるまちづくりを推進するため、誰もが気軽に参加できる文化・スポーツイベントの実施や商店街振興、地域経済活性化に関係団体等との連携、協力のもと取り組みます。

【キーワード】多様な主体との協働・共創

【主な取組分野】地域資源の活用、魅力創出・発信、多文化理解、国際交流

### ウ 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

緑地や農地の多い都筑区において、更に花と緑にあふれるまちを目指し、区内の地域資源である公園や緑道などの整備や脱炭素化に資する取組をします。また、様々な主体と連携し緑化活動に取り組むとともに、2027年国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」の機運醸成を図ります。

【キーワード】Nature based Solution(ネイチャー・ベースド・ソリューション)

【主な取組分野】脱炭素化、美化推進、緑化推進、地産地消



## 都筑区制 30 周年に向けた取組について

平成6年11月6日、港北区と緑区の再編成により誕生した都筑区は、令和6年に区制30周年を迎えます。

令和6年の1年間（暦年、1～12月）は、区として各種記念事業を行うほか、地域・企業・団体等の皆様が行う区制30周年をお祝いする行事や取組を積極的に支援し、多くの方が関わり、一体感を生み出していけるような取組を進めていきます。

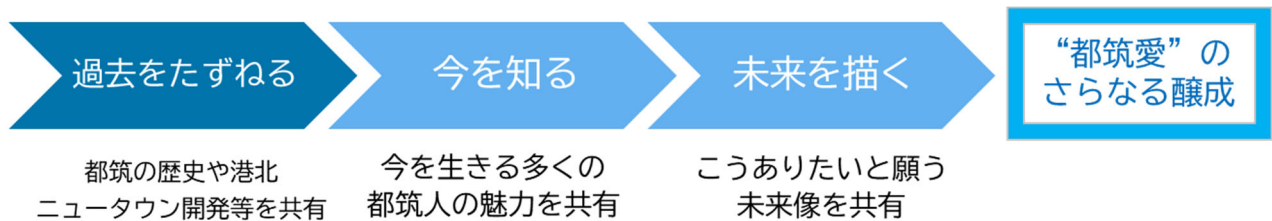
### 1 周年事業の目的及びコンセプト

#### (1) 目的

区制30周年という節目を活かし、区民の皆様には都筑の歴史や人、多くの地域資源等を改めて知り、さらに都筑を好きになっていただく機会をつくることで、「住み続けたいまち」の実現を目指します。

#### (2) コンセプト

「過去をたずねる」／「今を知る」／「未来を描く」の3つの軸で区民の皆様とともに取組を実施し、「都筑愛」のさらなる醸成につなげていきます。



### 2 実施体制

#### (1) 地域の皆様との協働

区が地域の皆様と周年事業の企画・実施に係る意見交換や情報共有を行う組織（窓口）として、都筑区ふるさとづくり委員会（※）に「都筑区制30周年記念事業部会」（以下、「部会」）が新たに設立されました。

（※）区民・企業・団体などの協働の促進、ふるさと意識の醸成などを図ることにより、交流が盛んでふれあいと賑わいのある住み続けたい都筑区を実現することを目的に、連合町内会自治会や区内の団体によって構成されている委員会

ア 委員構成 ※敬称略

都筑区制 30 周年記念事業部会		
部会長	吉野 富雄	都筑区連合町内会自治会 会長
部会員	横手 美枝子	都筑区連合町内会自治会 副会長 (地域活性担当部会長)
部会員	村田 輝雄	都筑区懇話会 会長 都筑区社会福祉協議会 会長 都筑区保護司会 相談役
部会員	小林 達夫	都筑区民生委員児童委員協議会 会長
部会員	木伏 慎治	都筑区商店街連合会 会長
部会員	山田 美千子	都筑クラブ 会長
部会員	栗林 一夫	都筑軽音楽文化協会 会長
事務局	総務課、区政推進課、地域振興課	

イ 第 1 回開催日 (予定)

9 月 28 日 (木)

(2) 区の推進体制

区役所一丸となって周年事業を進めるための組織として、区長を本部長とする「区制 30 周年庁内推進本部」を設置しました。

ア 構成員

本部長：区長

副本部長：副区長、消防署長、センター長、センター担当部長、土木事務所長

本部員：全課長級職員

イ 設置期間

令和 5 年 6 月 29 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日 (予定)

**3 現在実施を予定している主な取組と実施時期 (案)**

- ・ 記念式典 (令和 6 年 11 月)
- ・ ロゴマークの作成、区民の皆様が行う冠事業 (※) の募集 (令和 5 年秋～)
- ・ ロゴマークを活用した区制 30 周年の周知 (令和 5 年秋～)
- ・ 広報よこはま区制 30 周年特集号の発刊 (令和 6 年 1 月)
- ・ 区制 30 周年特設ホームページの立ち上げ (令和 6 年 1 月)
- ・ 既存事業やイベント等における記念事業 (令和 6 年 1 月～)

※今後、令和 6 年度予算編成や部会との意見交換等を通じて各種取組を検討します。

※冠事業とは：区民の皆様が実施するイベント等に「区制 30 周年」の冠を付けるとともに、ロゴマークや啓発物品の活用等をいただくことで、一緒に 30 周年をお祝いしていただくものです。